

## 令和2年度 事業報告

## 令和２年度 事業報告

### I はじめに

2019 年 11 月に中国武漢市で初めて新型コロナウイルス感染症の感染者が出て以来、その強い感染力は、我が国のみならず、世界的な流行、いわゆるパンデミックを引き起こしました。それから、1 年数か月が経ち、治療薬の開発、ワクチンの普及が急務となっていますが、感染防止のために夏場でもマスクが外せないなど、3 密を避ける新たな生活様式を当分続けていかざるを得ない状況になりました。

特に、地域支援については、年度当初から感染防止のために地域での活動をほとんど停止していましたが、感染防止対策の工夫をしながら取り組むことができました。

個別支援や在宅福祉サービスについても、できる限りの感染防止を行い、事業の進捗を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症に伴う事業縮小等により仕事を失った方や著しく収入が減少した方への対応として、緊急小口特例貸付金や総合支援資金特例貸付金、住居確保給付金制度が拡充され、その相談や申請が殺到しましたが、臨機に職員の動員を行い対応ができました。

一方、このような状況の中でも、生活困窮問題はもとより、引きこもりや孤立化、虐待の潜在化など、多くの生活課題が複雑化、多様化しています。

コロナ禍の中、本協議会では、これらの社会課題を踏まえながら、「だれもが安心して、いきいきと自分らしく暮らせる支え合いのあるまち」、「地域共生社会」の実現に向けた地域住民の新たな支え合いの仕組みづくりの構築や、良質な介護・障害福祉サービスの実施に取り組みました。

### II 重点項目

#### 1. 安定した法人運営と地域から信頼される組織づくり

生活課題の複雑化や多様化、また今般の新型コロナウイルス感染症に伴う緊急の経済対策などによって、高知市や県社協からの受託事業が増加するなど、本協議会の事業は質量ともに拡大し、同時に職員数の増加にもつながっています。

一方、法人として安定した経営を行うためには、財源の確保とともに、地域から信頼される当協議会職員の人材育成に努める必要があります。

このため、本協議会では、中長期的な事業運営や経営ビジョンを明確にした「第2次発展・強化計画」（令和元年度から6年間）に基づき、進捗管理等の取り組みを進めました。

## 2. 地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくり

高知市地域福祉活動推進計画（2019 年度～2024 年度）に基づき支え合い・助け合いのある地域社会の実現に向け、様々な専門機関や地域住民、各種団体等と連携・協働して、地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくりに取り組みました。また、コロナ禍で地域活動には多くの制限がありましたが、福祉学習の実践（ほおっちょけん学習）やボランティアの育成、共同募金の推進、生活課題に関する相談対応等を行いました。

生活課題の相談対応については、市内 5 モデル地区の薬局や社会福祉法人が開設する「ほおっちょけん相談窓口」に寄せられる住民の困りごとを地域で解決する仕組みとして「ほおっちょけんネットワーク会議」の開催や「生活支援ボランティア」の養成を行いました。

また、大規模災害時における災害ボランティアセンターの運営と通常業務の両立については課題も多いことから、同時に被災する可能性が低い地域間で、相互に職員を派遣することで円滑な災害支援を図っていくことを目的として、奈良市社協・倉敷市社協との三者で、令和 2 年 11 月に「災害時等における相互支援に関する協定」を締結しました。

## 3. 地域住民が自立した生活を営むことができるための権利擁護体制の確立

経済的な困窮や住まい・家族に関する問題等や、判断能力の低下等に起因した生活課題を抱える相談者に対し、ワンストップ機能として、まずは相談内容を受け止め、課題の解決に向けた伴走型の支援を実施しました。

また、各事業の会議や研修等を通じ、関係機関や行政との連携を深め、適切かつ円滑な事業の実施に努めました。

## 4. 地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるサービスの実施

良質な福祉・介護サービスを担う人材の確保・育成に努め、質の高いサービスの提供を行うとともに、社会福祉法人である本協議会の持つ役割を踏まえ、出前講座や買い物支援など地域活動に貢献すべく鋭意取り組みました。

### Ⅲ 実施事業概要

#### 1. 安定した法人運営と地域から信頼される組織づくり

##### (1) 評議員会、理事会及び評議員選任委員会の開催

① 評議員会、理事会を次のとおり開催した。

##### ◆評議員会

| 開催日    | 回   | 付議（議決）議案                                                                                                            |
|--------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7月22日  | 140 | 1 令和元年度事業報告<br>2 令和元年度収入支出決算<br>3 令和2年度収入支出補正予算<br>4 理事の選任                                                          |
| 11月20日 | 141 | 1 令和2年度収入支出補正予算<br>2 社会福祉法人高知市社会福祉協議会経理規程の一部改正                                                                      |
| 3月25日  | 142 | 1 令和3年度事業計画<br>2 令和3年度収入支出予算<br>3 令和2年度収入支出補正予算<br>4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会役員等の報酬及び旅費等に関する規程の一部改正<br>5 役員報酬の総額<br>6 理事の選任 |

##### ◆理事会

| 開催日   | 回   | 付議（議決）議案                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7月6日  | 186 | 1 令和元年度事業報告<br>2 令和元年度収入支出決算<br>3 令和2年度収入支出補正予算<br>4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会新型コロナウイルス感染症に係る特別休暇に関する規則の制定<br>5 社会福祉法人高知市社会福祉協議会経理規程の一部改正<br>6 在宅生活応援課の所掌する在宅福祉の事務事業に係る規程の整理に関する規程<br>7 社会福祉法人高知市社会福祉協議会成年後見サポートセンター運営規程の一部改正<br>8 評議員選任候補者の選任<br>9 評議員選任委員会委員の選任<br>10 理事選任候補者の選任<br>11 評議員会の招集及び開催 |
| 7月22日 | 187 | 1 会長の選任<br>2 副会長の選任                                                                                                                                                                                                                                                                         |

| 開催日   | 回   | 付議（議決）議案                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月9日 | 188 | 1 令和2年度収入支出補正予算<br>2 社会福祉法人高知市社会福祉協議会経理規程の一部改正<br>3 評議員選任委員会委員の選任<br>4 評議員選任候補者の選任<br>5 評議員会の招集及び開催                                                                                                                                                                                     |
| 3月9日  | 189 | 1 令和3年度事業計画<br>2 令和3年度収入支出予算<br>3 令和2年度収入支出補正予算<br>4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の廃止<br>5 社会福祉法人高知市社会福祉協議会処務規程の一部改正<br>6 社会福祉法人高知市社会福祉協議会経理規程の一部改正<br>7 社会福祉法人高知市社会福祉協議会職員の給与に関する規則の一部改正<br>8 社会福祉法人高知市社会福祉協議会役員等の報酬及び旅費等に関する規程の一部改正<br>9 役員報酬の総額<br>10 理事選任候補者の選任<br>11 評議員会の招集及び開催 |

② 評議員選任委員会を、書面表決にて下記のとおり実施した。

| 議案可決日 | 回 | 付議（議決）議案                     |
|-------|---|------------------------------|
| 9月8日  | 6 | 1 評議員の選任                     |
| 1月13日 | 7 | 1 評議員選任委員会委員長の選任<br>2 評議員の選任 |

(2) 委員会等の開催

名士チャリティ色紙展示即売会収益金配分委員会・高知市社会福祉協議会会長表彰表彰者選定委員会・高知市社会福祉大会準備会・高知市成年後見サポートセンター運営委員会・高知市生活支援相談センター運営委員会等を開催し、事業の適切な運営に努めた。

(3) 経営管理体制の整備

① 積極的な情報公開による透明性の確保

ホームページに事業計画・事業報告及び予算・決算を掲載し、情報提供を行った。

② 定款その他諸規定の整備

事業の改廃に伴う定款及び諸規定の整備を行った。

#### (4) 財務管理運営の整備

##### ① 自主財源の確保

平成29年度より、日本地域福祉ファンドレイジングネットワークCOMNET理事長久津摩和弘氏をアドバイザーに迎え、当協議会内プロジェクトメンバーを中心に課題解決のための資金調達の手法としてファンドレイジングの仕組みを研究・協議しファンドレイジングを行うためのプロセスや実施のための組織づくりを行い、新たな寄付制度（マンスリーサポーター制度）の導入に向けて、パンフレットの作成や他機関と連携して収納代行の申込等を行い、財源確保に向けた準備を行った。

また、寄付受入マニュアルを作成し、寄付の申し出があった時に、職員が的確かつスムーズに受け入れが出来るように、寄付における基本的な考え方や方針、受け入れ方法をまとめた。

##### ◆会議の開催

| 内容                | 実施回数 |
|-------------------|------|
| ファンドレイジングプロジェクト会議 | 9回   |

##### ◆研修会の開催及び参加

| 開催日      | 研修名                               | 参加人数 |
|----------|-----------------------------------|------|
| 9月5日～12日 | ファンドレイジングジャパン2020 ONLINE          | 7名   |
| 1月22日    | 遺贈寄付サロン「地域密着型の遺贈寄付～社会福祉協議会の事例に学ぶ」 | 4名   |

##### ◆社協会員の状況

| 年度     | 区分    | 個人会員    | 団体会員    | 合計        |
|--------|-------|---------|---------|-----------|
| 令和2年度  | 加入者数  | 716     | 108     | 824       |
|        | 金額(円) | 426,000 | 643,000 | 1,069,000 |
| 令和元年度  | 加入者数  | 718     | 87      | 805       |
|        | 金額(円) | 401,000 | 538,000 | 939,000   |
| 平成30年度 | 加入者数  | 764     | 100     | 864       |
|        | 金額(円) | 458,000 | 625,000 | 1,083,000 |

##### ◆寄付金の状況（ほおちょけん寄付金、まごころ銀行預託金を除く）

| 年度     | 件数  | 金額(円)     |
|--------|-----|-----------|
| 令和2年度  | 11件 | 646,554   |
| 令和元年度  | 29件 | 5,834,253 |
| 平成30年度 | 23件 | 2,814,744 |

##### ② 補助・委託事業における行政との協議

平成24年度以降、補助・委託事業を実施するにあたり、補助金・受託金だけでは賄えない部分や補助金・受託金では認められない経費部分を積立金の取崩しにより賄ってきたが、適正な経費で補助・委託事業を実施し、財政基盤を安定させていくための協議を高知市と継続して行った。

##### ③ 経営改善計画の実施

安定した経営と収支改善を目的に策定した経営改善計画を下記のとおり実施した。

##### ア. 委託元等との協議による改善

委託事業での不採算解消を目的に、各委託元等と協議を行った。委託事業の精算制廃止の提案等を行ったが、具体的な改善までは至っていない。今後も継続して協議を重ね、改善が図れるように努める。

#### イ. 業務の見直しと改善

職員の勤務状況を適切に管理できる勤怠管理システムの導入に向けて検討を重ね、システム業者との協議を行った。令和3年度にはシステムの導入を図る。

また、働き方改革関連法案における「同一労働同一賃金」の考え方を照らし合わせて、本協議会の非正規雇用職員の業務内容の洗い出しを行った。

#### ウ. 自主財源確保による改善

当協議会の会員に対して、令和2年度の当協議会の取り組みをまとめた「活動報告誌」を送付し、より当協議会への関心を高めてもらえるように努めた。

寄付金収入については令和元年度は大口寄付もあったが、今年度は寄付金収入が少なく、今後、広報活動を拡大していく必要がある。

#### エ. 在宅福祉サービス部門の安定経営

総合あんしんセンターにて運営していた居宅介護支援事業については、現在事業を行っている高知市中心部には他の事業所も多く、事業が競合していることや、安定した財政基盤に向けて計画的な経営改善を実施するため、令和3年3月末に閉所した。

#### オ. 在宅福祉サービス部門の経営状況を把握

介護・障害福祉サービス部門の経営状況を把握し改善を図るため、会計の拠点区分・サービス区分を見直しするとともに、事務処理の簡素化など業務の改善・効率化に取り組んだ。

### (5) 組織基盤の整備

#### ① 職員の労務管理の適正化

職員6名と産業医1名で構成された安全衛生委員会を毎月開催した。また、各事業所を巡視し照度検査を行い、基準値に達していない事業所においては、照明の増設等の対応をするなど職場環境の改善に努めた。

#### ② 人材育成

##### ア. 職員の資質向上のための自主勉強会の開催・各種研修会への参加促進、助成

職員を対象に自主研修を企画したが、新型コロナウイルス感染症の感染被害を防ぐため開催を中止した。

##### イ. 「自己啓発カード」の実施

職員が自らの目標達成のために研修計画を立てる「自己啓発カード」を全職員対象に実施し、職員の資質向上に努めた。「自己啓発カード」の実施により、職員が自らの目標を明確化し、目標に向けた研修を考えることができ、また、カードの計画をフォローする所属長と業務における認識を深めることができた。

##### ウ. 階層別研修の実施

一般職員・指導監督職・管理職それぞれの職に応じて求められる役割を遂行するための知識を身に付けるため、高知県社会福祉協議会が主催する階層別の研修を受講した。

| 階層            | 受講した研修  | 主催    | 受講者数(名) |
|---------------|---------|-------|---------|
| 管理職（課長・課長補佐級） | 管理職員研修  | 高知県社協 | 2       |
| 指導監督職（係長級）    | 指導的職員研修 | 高知県社協 | 2       |
| 一般職員（主事級）     | 新任職員研修  | 高知市社協 | 3       |

#### ③ 職員の福利厚生

第187回理事会で承認いただき、新型コロナウイルス感染症に一丸となって立ち向かった職員に対し、介護・障害福祉サービス事業の職員に対する国の慰労金と同額を、職員68名に法人独自の見舞金として支給した。（国の慰労金対象職員：131名）

また、新型コロナウイルス感染症の影響によって小学校等が臨時休業した場合等に、その小学校等に通う子の保護者である職員の休暇を特別休暇（有給）とする規則を定め、職員が働きやすい職場環境を整備した。

## (6) 指定管理業務の推進

### ① 指定管理施設の適正な管理運営

◆貸室貸出状況（上段：令和２年度・下段：令和元年度）

| 施設名                 |           |       | 有料      |       |       |    |       |        | 無料    |        | 計       |        |
|---------------------|-----------|-------|---------|-------|-------|----|-------|--------|-------|--------|---------|--------|
|                     |           |       | 全額有料    |       | 半額免除  |    | 全額免除  |        |       |        |         |        |
| 東部<br>健康福祉<br>センター  | 令和<br>二年度 | 件数・人数 | 57      | 834   | 2     | 7  | 705   | 8,599  | 2,174 | 15,318 | 2,938   | 24,758 |
|                     |           | 金額(円) | 157,440 |       | 3,160 |    | 0     |        | 0     |        | 160,600 |        |
|                     | 令和元<br>年度 | 件数・人数 | 46      | 416   | 1     | 15 | 1,021 | 18,513 | 2,709 | 19,498 | 3,777   | 38,442 |
|                     |           | 金額(円) | 93,120  |       | 1,560 |    | 0     |        | 0     |        | 94,680  |        |
| 南部<br>健康福祉<br>センター  | 令和<br>二年度 | 件数・人数 | 153     | 807   | 0     | 0  | 96    | 512    | 1,465 | 8,480  | 1,714   | 9,799  |
|                     |           | 金額(円) | 213,710 |       | 0     |    | 0     |        | 0     |        | 213,710 |        |
|                     | 令和元<br>年度 | 件数・人数 | 165     | 801   | 0     | 0  | 187   | 1,333  | 2,102 | 13,983 | 2,454   | 16,117 |
|                     |           | 金額(円) | 189,130 |       | 0     |    | 0     |        | 0     |        | 189,130 |        |
| 障害者福祉<br>センター       | 令和<br>二年度 | 件数・人数 | 0       | 0     | 0     | 0  | 200   | 1,227  | 540   | 5,973  | 740     | 7,200  |
|                     |           | 金額(円) | 0       |       | 0     |    | 0     |        | 0     |        | 0       |        |
|                     | 令和元<br>年度 | 件数・人数 | 0       | 0     | 0     | 0  | 140   | 1,307  | 615   | 7,365  | 755     | 8,672  |
|                     |           | 金額(円) | 0       |       | 0     |    | 0     |        | 0     |        | 0       |        |
| 土佐山<br>健康福祉<br>センター | 令和<br>二年度 | 件数・人数 | 0       | 0     | 0     | 0  | 3     | 105    | 0     | 0      | 3       | 105    |
|                     |           | 金額(円) | 0       |       | 0     |    | 0     |        | 0     |        | 0       |        |
|                     | 令和元<br>年度 | 件数・人数 | 0       | 0     | 0     | 0  | 6     | 172    | 0     | 0      | 6       | 172    |
|                     |           | 金額(円) | 0       |       | 0     |    | 0     |        | 0     |        | 0       |        |
| 春野<br>あじさい<br>会館    | 令和<br>二年度 | 件数・人数 | 39      | 304   | 0     | 0  | 117   | 2,819  | 182   | 2,130  | 338     | 5,253  |
|                     |           | 金額(円) | 26,850  |       | 0     |    | 0     |        | 0     |        | 26,850  |        |
|                     | 令和元<br>年度 | 件数・人数 | 45      | 360   | 0     | 0  | 156   | 3,126  | 197   | 2,414  | 398     | 5,900  |
|                     |           | 金額(円) | 27,820  |       | 0     |    | 0     |        | 0     |        | 27,820  |        |
| 計                   | 令和<br>二年度 | 件数・人数 | 249     | 1,945 | 2     | 7  | 1,121 | 13,262 | 4,361 | 31,901 | 5,733   | 47,115 |
|                     |           | 金額(円) | 398,000 |       | 3,160 |    | 0     |        | 0     |        | 401,160 |        |
|                     | 令和元<br>年度 | 件数・人数 | 256     | 1,577 | 1     | 15 | 1,510 | 24,451 | 5,623 | 43,260 | 7,390   | 69,303 |
|                     |           | 金額(円) | 310,070 |       | 1,560 |    | 0     |        | 0     |        | 311,630 |        |

#### ア. 基本協定、事業計画書に基づく適正な管理運営

法令や高知市の関係条例を遵守し、公共施設の管理運営業務の基本である公平性や公正性の確保を行いながら、住民にとってさらに快適で利用しやすい施設となるよう努めた。

#### イ. 安全管理体制の強化及び利用者サービスの向上

各指定管理施設では、それぞれ年２回地震等による火災発生を想定した防災避難消防訓練を行うなど、万一に備えた安全管理体制の強化を行った。さらに、日常点検により、経年劣化に伴う修繕等に迅速に対応し、障害者、高齢者等の利便性向上を図った。

また、新型コロナウイルス感染防止対策として、手指消毒液の設置、マスク着用並びに室内換気の要請を行うとともに貸室の利用自粛要請を行った。

#### ウ. 自主事業の実施

例年実施している自主事業は多くの市民、特に高齢者が参加するため、令和２年度は新型コロナウイルス感染症の感染被害を防ぐため開催を自粛した。

### ② 障害者支援窓口（土佐山健康福祉センターを除く。）

障害者手帳や各種サービスの申請、受付、交付、相談を行った。



## (7) 情報発信機能の強化

### ① 広報広聴機能の強化

#### ア. ホームページの有効活用

Google アナリティクスを導入し、閲覧状況や行動パターン等の把握・分析を行った。

#### イ. 様々な SNS の活用

Facebook, Instagram, Twitter を活用し、本協議会の事業やイベント情報等を投稿し、幅広い世代に向けて情報を発信した。

| SNS    | Facebook | Instagram | Twitter |
|--------|----------|-----------|---------|
| 掲載回数   | 53回      | 260回      | 266回    |
| フォロワー数 | 626人     | 482人      | 341人    |

### ② 高知市社会福祉大会の開催

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加人数を制限し、開催時間を短縮して、第60回大会を開催した。

<開催日> 令和2年11月17日（火） <会 場>高知市文化プラザかるぽーと 大ホール

<主 催> 高知市・高知市民生委員児童委員協議会連合会・

高知市地区社会福祉協議会連合会／高知市社会福祉協議会

<参加者> 299名

<表 彰>\* 高知市長表彰 16名

\* 高知市社会福祉大会大会長表彰 49名

\* 高知市社会福祉協議会会長感謝状 10名、3 団体

<テーマ>「これまでとこれからの地域福祉」

<内 容> 高知市内の地域福祉活動を紹介する動画上映

### ③ 「出前講座」の実施

平成29年度から開始した「出前講座」は、令和元年度も引き続きテーマごとに依頼のあった地区において実施した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年よりも実施回数が大幅に下がった。

#### ◆出前講座の内訳

| 担当課    | 種別                            | 実施回数 | 参加者数（名） |
|--------|-------------------------------|------|---------|
| 共に生きる課 | 日常生活自立支援事業について                | 2    | 30      |
|        | 日常生活自立支援事業とこれからあんしんサポート事業について | 1    | 10      |
| 合計     | 合計                            | 3    | 40      |

## (8) 福祉人材の育成支援

### ① 各種実習生の受入、指導、助言

国家試験等の受験資格要件を満たすための実習生を受け入れた。

| 区分    | 実人員(名) | 延日数(日) |
|-------|--------|--------|
| 社会福祉士 | 11     | 215    |
| 介護福祉士 | 0      | 0      |
| 看護師   | 6      | 12     |
| 合計    | 17     | 227    |

## (9) 災害時における体制強化

### ① 大規模災害時初期行動計画の推進

令和2年度から各所属の課長補佐級6名で構成した災害対策委員会を組織し、初期行動計画（第1版）に記載している災害時における参集基準，組織体系，優先事業等の項目を見直し，初期行動計画（令和2年度修正版）を作成した。

### ② 三者協定及び災害ボランティアセンター連絡会の運営

当協議会は平成21年8月に，社団法人高知青年会議所及び特定非営利活動法人NPO高知市民会議と三者協定を締結後，災害時における災害ボランティアセンターの設置及び運営について協議を重ねてきた。

令和2年度は，行政を加えた四者検討会議を3回実施し，災害ボランティアセンターのネットワーク会議の構築に向けた団体依頼及び三者協定の見直しの協議や来年度ネットワークメンバーで作成予定の災害ボランティアセンター運営マニュアルの検討を行った。

### ③ 災害時に備え，平時からの行政との協議体制の確立

令和2年3月に，高知市との災害ボランティアセンター設置運営に関する協定の締結後，所管である高知市地域コミュニティ推進課を通じて，高知市防災計画見直しに関する意見書を提出し，災害ボランティアセンターと高知市災害対策本部との情報共有を行う体制の構築と平時における連携強化について明記された。

また，現段階での災害ボランティアセンターの設置場所として，西部健康福祉センター及び高知県教育センターの駐車場が候補地であることを確認し，市社協が保有する無線機通信状況の確認や設置レイアウト検討を行った。

### ④ 災害ボランティアセンター職員研修及び訓練の実施

高知県社会福祉協議会が主催する災害ボランティアセンター運営模擬訓練に6名の職員が参加した。

### ⑤ 奈良市社協，倉敷市社協との災害時における相互支援協定の締結

災害時における社会福祉協議会の重要な役割である災害ボランティアセンターの立ち上げや運営，発災後の通常業務に対する支援等について，異地区間で相互に職員を派遣することで円滑な災害支援を図っていくことを目的として，令和2年11月23日に倉敷市で奈良市社協と倉敷市社協との三者で協定を終結した。



《奈良市社協，倉敷市社協との協定の様子》

## (10) 社会福祉法人との連携

高知市社会福祉法人連絡協議会は、平成30年8月に発足し、令和3年3月末時点で19法人が加盟している。

令和2年度は、実践の輪を広げていくために3つの部会を設置し、個々の社会福祉法がこれまで培ってきた特性・専門性をつなぎあわせ、複数法人の連携による制度の狭間を埋める取り組みを展開した。

### ① 相談窓口推進部会

高知市の認定を受け、ほおっちょけん相談窓口を開設している2法人（秦ダイヤライフ福祉会、土佐香美福祉会）が所在する一宮地区にて出張型の相談会を開催。企業（マルナカ）の協力を得てスーパーで開催することで、既存の取組では周知する機会の無かった層にも周知、広報する機会となった。相談会当日は地区内にて相談窓口を開設している薬局や高知ひきこもりピアサポートセンターの協力も得ることで、子育て、障がい、高齢の各分野の相談に加え、薬や生活困窮に関する相談にも幅広く対応できる相談会として開催することができた。

### ② 災害対策連携部会

部会を通じ、異業種法人間でのつながりができたことにより、自法人における検討事項の見直しや課題の検証に繋がったとともに、他法人や部会員同士で相互理解が深まり、今後の取組につながるいい機会となった。

### ③ 地域公益活動推進部会

部会を通じて顔が繋がったことで部会員同士の連携事例（児童発達支援センターと保育園の連携）も生まれるなど、種別を超えたネットワークづくりへと発展している。

さらに各法人が現在実施している地域に向けた取組について共有することで、既存の取組の活性化、更なる充実に向けた検討へと繋がっている。

### ④ 役員会及び職員研修会の開催状況

|                   |                                                                       |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 第1回役員会<br>(6月25日) | 【議案】①令和元年度事業報告・決算について<br>②令和2年度事業計画・予算について<br>③役員の選任について 他            |
| 第2回役員会<br>(9月25日) | 【議案】①部会進捗状況について<br>②高知青年会議所主催の相談会への協力について                             |
| 第3回役員会<br>(書面開催)  | 【議案】①役員改選について<br>【報告】①事業計画進捗状況<br>②令和2年度事業報告及び決算見込み、令和3年度事業計画及び予算案の提出 |

## 2. 地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくり

高知市と合同で策定した「高知市地域福祉活動推進計画」に基づき、支え合い・助け合いのある地域社会の実現に向けて、様々な専門機関や地域住民、各種団体等と連携・協働して、地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくりに取り組んだ。また、福祉学習の実践やボランティア育成、共同募金活動の推進、生活課題に関する相談対応等を行った。

### ◆地域福祉コーディネーターの活動実績

| 種類         | 活動例                                                                                  | 件数  |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 個別支援       | ・ ケース対応（ケース会議）<br>・ 専門機関や社会資源、ボランティアへの繋ぎ<br>・ 見守り体制整備 ほか                             | 168 |
| 地域支援       | ・ 住民主体の話し合いの場づくり<br>・ コミュニティサロン等運営支援<br>・ 社会資源開発、住民組織の立ち上げ支援<br>・ 地域活動での計画周知や啓発活動 ほか | 956 |
| ボランティア活動支援 | ・ ボランティアコーディネート<br>・ ボランティア登録、育成 ほか                                                  | 111 |
| 福祉学習       | ・ ほおっちょけん学習 ほか                                                                       | 68  |
| 関係機関との連携強化 | ・ 地域、多職種等との連携強化<br>・ 地区民生委員児童委員協議会定例会出席 ほか                                           | 325 |

※地域福祉コーディネーター数：15人（1人欠員・令和3年3月末時点）

## ～ 「ほおっちょけん」のひとづくり ～

### (1) 「ほおっちょけん」の住民意識づくり

#### ① 高知市地域福祉活動推進計画の周知

市内の各圏域において、地域共生社会の実現に向けて計画の周知を行った。

- ・ 計画の説明 122回（延べ1,123人）
- ・ 地域福祉コーディネーターの説明 313回（延べ3,171人）
- ・ ボランティアセンターの説明 105回（延べ791人）

#### ② ほおっちょけんツールを活用した情報発信

ほおっちょけん学習やふれあい体験学習等を受講した、高知市内の小中学校等の児童生徒等へ啓発のため「ほおっちょけんシール」を4,864枚配布した。

また、新たにほおっちょけんバッジを啓発のため作成し、配布した。

### (2) 「ほおっちょけん学習（福祉学習）」の拡充

#### ① ほおっちょけん学習の開催

保育園・幼稚園3園、小学校1校、児童館1カ所で、延べ326人に対して「ほおっちょけん学習」を実施。また、地域住民延べ39人も学習会に招き、一緒に啓発活動を行った。また、春野高校や平成福祉専門学校においても実施した。

## ② ほおっちょけん学習サポーター養成講座の開催

ほおっちょけん学習に参加していただいている地域住民等に対して、ほおっちょけん学習サポーター養成講座を開催し、他地区のほおっちょけん学習の内容や自分たちの地域の活動の振り返り、これからの工夫について合同で検討した。

| 開催月 | 場所           | 参加者(名) | 登録者(名) |
|-----|--------------|--------|--------|
| 9月  | 南万々 個人宅サロン会場 | 55人    | 49名    |
|     | 総合あんしんセンター   |        |        |
| 11月 | 高知市保健福祉センター  |        |        |

## ③ 企業向けほおっちょけん学習の実施

民間企業2社に対してもほおっちょけん学習を実施した。「人材・スキル・物資などの会社の資源を地域のために活用できないか?」「本業に支障がなく、長く続けられる地域貢献の方法は?」といった企業の疑問に対するヒントを紹介するとともに、それぞれの企業の現状に沿った地域・社会貢献の取り組みを一緒に考えた。

## (3) 活動につながるきっかけづくり

### ① 活動につながる情報提供

ボランティア登録者には2か月に1回、ボランティア活動の情報紙を発送したが、その情報により4件がボランティア活動へつながった。ボランティア情報とともに、コロナ禍でも感染拡大を防ぎながら地域活動を絶やさずにつながり続けることができるように、地域活動の紹介を中心とした情報発信も行った。

また一方、緊急事態宣言の時期はボランティア登録者へ活動自粛を呼びかけた。こうち笑顔マイレージの受入施設は、緊急事態宣言解除後も外部からの立ち入りを制限する施設が多く、ボランティアを受け入れる環境になかった。

### ② ボランティア登録者の増加

#### ◆福祉委員数

| 年度     | 取組地区数 | 委員数(名) |
|--------|-------|--------|
| 令和2年度  | 13    | 143    |
| 令和元年度  | 14    | 160    |
| 平成30年度 | 12    | 181    |

#### ◆気くばりさん登録者数

| 年度     | 登録者数(名) |
|--------|---------|
| 令和2年度  | 559     |
| 令和元年度  | 631     |
| 平成30年度 | 564     |

### ③ 気くばりさん・福祉委員登録者の研修

既存の登録者のフォローアップ研修を開催する予定にしていたが、新型コロナウイルス感染症の流行期(第3波)により中止した。

### ④ 大学生等の若い世代と協働

地域福祉活動や街頭募金活動等を大学生や専門学生に情報提供し、ボランティアマッチングを実施した。

### ⑤ 高齢者の社会参加の促進

こうち笑顔マイレージボランティアの登録者が登録施設でのボランティアにとどまらず、地域での困りごとへのちょっとしたボランティアへつながるよう情報提供を行った。生活に関するちょっとした困りごと等をお手伝いする生活支援ボランティア38名を養成した。

### ⑥ 行政等の人材養成事業を活用した啓発による新たな担い手の発掘

認知症サポーター養成講座等の研修会にて、ボランティアセンターのパンフレット等を配布した。

#### (4) 担い手がいきいきと活躍できる環境づくり

##### ① ボランティア団体への支援

###### ◆ボランティア活動保険の加入者数

| 年度     | 団体数 | 加入者数(名) |
|--------|-----|---------|
| 令和2年度  | 98  | 4,831   |
| 令和元年度  | 76  | 5,219   |
| 平成30年度 | 120 | 5,234   |

##### ② ボランティアのニーズ受付

ボランティアに関する相談 65件

##### ③ ボランティアのマッチング

寄せられた相談に対して気くばりさんやマイレージボランティアをマッチング 80件

##### ④ 非対面型ボランティア活動の試行実施

新型コロナウイルス感染症の影響による、ボランティア意欲の低下、ボランティア受け入れ施設の地域貢献の機会の減少等の解消を図るため、リモートによるボランティア活動を下記のとおり試行した。

日 時：令和3年2月17日（水）14時30分～15時00分

場 所：総合あんしんセンター ⇄ 春野あじさい会館デイサービス

内 容：ボランティアによるレクリエーション（紙芝居）をリモートで実施

#### (5) 担い手の活動を支える

##### ① 自主グループの活動支援

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

##### ② こうち笑顔マイレージ事業

高知市在住の65歳以上の住民が、ボランティア活動や健康づくり活動に取り組むことで積極的に介護予防及び地域に貢献することを奨励、支援を行った。

また、登録者へのフォローアップとして傾聴ボランティアの研修を実施した。（受講者数28名）

###### ◆ボランティア活動

| 年度    | 受入施設 | 登録者数(名) |
|-------|------|---------|
| 令和2年度 | 173  | 264     |
| 令和元年度 | 168  | 316     |

###### ◆健康づくり活動

| 年度    | 登録会場 | 登録者数(名) |
|-------|------|---------|
| 令和2年度 | 360  | 8,210   |
| 令和元年度 | 359  | 7,746   |

###### ◆介護予防活動支援推進事業

| 年度    | 登録会場 | 助成金交付会場 |
|-------|------|---------|
| 令和2年度 | 318  | 279     |
| 令和元年度 | 309  | 303     |

## ～ 「ほおっちょけん」のまちづくり ～

### (1) 地域福祉活動推進

#### 各種会議への参画

- ・ 関係機関との情報交換(地域高齢者支援センターブロック会他)：21回
- ・ 地域ケア会議：25回      ・ 認知症サポーター養成講座での協働：14回
- ・ 障害者相談センターとの意見交換：7回
- ・ スクールソーシャルワーカーとの意見交換：7回
- ・ 個別支援分野との連携：141件

### (2) ひとがつながる場づくり

#### ① 立ち上げ及び運営支援

##### ◆小地域での集いの場（箇所数）

| 区分            | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|---------------|-------|-------|--------|
| 百歳体操          | 365   | 359   | 368    |
| 子育てサロン        | 20    | 18    | 17     |
| サロン(高齢・障害)    | 88    | 86    | 75     |
| 認知症カフェ        | 24    | 28    | 28     |
| 子ども食堂・子どもの居場所 | 36    | 36    | 28     |

##### ◆地域利用施設「クルム」の利用状況（令和2年4月～令和3年3月）

| 子ども食堂 |     | いきいき百歳体操 |     | その他（町内会役員会等） |     |
|-------|-----|----------|-----|--------------|-----|
| 利用日数  | 延人数 | 利用日数     | 延人数 | 利用日数         | 延人数 |
| 51    | 206 | 0        | 0   | 17           | 81  |

地域利用施設「クルム」は、高知市朝倉地区で本協議会に寄贈された住宅を地域住民と関係団体で構成している運営委員会を運営主体として平成30年7月14日にオープンした。NPO 主催の子ども食堂を定期開催するなど交流する場として活用している。

#### ② 施設の空きスペースの有効活用に向けた検討

高知市社会福祉法人連絡協議会会員法人の土佐香美福祉会（ウエルプラザ高知）において子どもの居場所づくりに向けて検討を行った。

### (3) 身近な生活の困りごとについて考える“話し合いの場”づくり：178回

地域課題や他地区の好事例の提供等により、地域の困りごとを考える「話し合いの場」の設定や既存の場を「集える場」への強化を図るため、場の運営支援や話題提供を行うとともに、必要に応じたボランティアのマッチングによる活動支援を行った。

### (4) 多様な主体のつながり

#### ① 地区社会福祉協議会連合会による情報交換会・研修会等の開催支援

地区社会福祉協議会連合会による情報交換会・研修会等の開催を支援し、地区社協の地域福祉活動の活性化・地区社協と各種団体・活動者との情報共有・交流の機会づくりに取り組んだ。

- ・ 世話人会 3回      ・ 全体研修会 1回

#### ② 福祉委員交流会の実施

朝倉地区、江ノ口東地区において、日頃の活動の共有や今後の活動の展開に向けて意見交換を行った。

## (5) 地域の生活の困りごとの解決に向けたつながりづくり

### ① 『ほおっちょけん相談窓口』運営支援

住民の身近な圏域に、地域の生活の困りごとの相談を包括的に受け止める場として、市内5つのモデル地区（旭地区、江ノ口西地区、三里地区、一宮地区、春野地区）で『ほおっちょけん相談窓口』が令和元年11月5日に開設された。開設後は、毎月1回の相談窓口（28か所）を訪問し、報告書の回収や相談状況の確認を行った。

また、令和3年度から新たに開設予定の地域（五台山地区、高須地区、秦地区、初月地区、大津地区）の各種団体や関係機関等への説明や協議、民生委員、町内会へのアンケート調査を実施した。

・相談件数 111件（令和2年4月～令和3年3月）

### ② 住民が主体的に地域の中で課題解決できる仕組み

相談窓口に寄せられる地域の生活の困りごと等を課題解決できる仕組みとして「ほおっちょけんネットワーク会議」を地域に提案し、一宮地区及び江ノ口西地区で実施した。

また、相談窓口に寄せられたちょっとした地域の困りごとに対応する生活支援ボランティアを江ノ口西地区、江ノ口東地区、一宮地区、三里地区にて養成した（38名）

### ③ 地域福祉活動に関する助成金活用の支援

高知市地域福祉活動推進計画を推進するため、福祉のまちづくり事業と地区社協活動助成事業の助成を地区社協に対して行った。

#### ◆地区社協活動助成事業助成状況

| 年度     | 申請地区数 | 助成金額（円）   |
|--------|-------|-----------|
| 令和2年度  | 7     | 140,558   |
| 令和元年度  | 8     | 756,239   |
| 平成30年度 | 12    | 1,266,808 |

#### ○ 助成の主な内容

＊見守り体制の構築に係る費用（救急医療情報キット）

＊拠点整備に係る費用（家賃・光熱水費、備品購入等） 等

#### ◆ふくしのまちづくり事業助成状況

| 年度     | 申請地区数 | 助成金額（円）   |
|--------|-------|-----------|
| 令和2年度  | 19    | 1,825,000 |
| 令和元年度  | 24    | 2,283,000 |
| 平成30年度 | 26    | 2,409,000 |

#### ○ 助成の主な内容

＊高齢者への配食サービスに係る費用 等



## ～ 地域福祉を推進するための体制基盤 ～

### (1) キャリアパスの活用による計画的な人材育成

#### 【OJT の実施】

新任職員への OJT 担当者の配置と内容のブラッシュアップを行った。

#### 【OFF-JT の実施】

高知縣市町村社協連絡会、高知県社協主催のコミュニティソーシャルワーカー養成研修を受講した。また、ZOOM や動画編集等の研修を企画し職員の技術向上に努めた。小地域福祉活動の評価として参加型評価を住民参加で行い評価の手法の学びを深めた。

#### 【SDS の実施】

キャリアパスと自己啓発カードを連動させ、目指す地域福祉コーディネーター像を明確にするとともに、個人の課題を自ら考え目標設定をすることができた。また、令和2年度から社会人基礎力自己チェックシートを試行的に実施した。

### (2) 職員の資質向上と体制強化（地域支援事例検討会）

地域福祉コーディネーターの資質向上を目的として、外部からスーパーバイザーを招き、地域事例を踏まえながら今後の取り組みを考えていく地域支援事例検討会を開催した。

#### ◆地域支援事例検討会

| 開催月  | テーマ                     | 参加者(名) |
|------|-------------------------|--------|
| 7 月  | 生活支援ボランティア養成研修について      | 21     |
| 8 月  | 「サードプレイスするー」の取り組みについて   | 19     |
| 9 月  | ほおっちょけん学習について           | 17     |
| 10 月 | 企業向け福祉学習について            | 19     |
| 11 月 | 学校向け福祉教育について            | 20     |
| 12 月 | 子育て世代包括支援センターとの連携事例について | 26     |
| 1 月  | 地域力強化実践報告会（南部・西部圏域）     | 22     |
|      | 地域力強化実践報告会（東部・北部圏域）     | 21     |
| 2 月  | オンラインを活用したボランティアについて    | 15     |
| 3 月  | 令和2年度の振り返り CSW 意見交換会    | 17     |

## ～ 共同募金事業の推進 ～

都道府県単位で年1回厚生労働大臣の定める期間内に限り寄付金の募集を行い、その区域内における地域福祉の推進を図るため、その寄付金を区域内の社会福祉事業、更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業を経営する者に配分した。

#### ① 委員会移行に伴う各地区委員会への支援

平成31年4月1日に高知県共同募金会高知市支会から高知市共同募金委員会に移行し、それに伴い、各地区分会においても各地区委員会に移行するにあたり、各地区委員会の会則の改正及び策定等の支援を行った。

## ② 高知市共同募金委員会助成事業の実施

令和3年度助成に向けて令和3年2月16日に高知市共同募金委員会審査委員会を実施。令和2度の審査には試行的に申請団体による事業のプレゼンテーションを行った。

- ・申請件数 18件 申請額 2,309,000円
- ・決定件数 17件 助成額 1,580,000円
- 内訳（高知市広域福祉活動支援事業 9件 887,000円）  
（小地域福祉活動支援事業 7件 393,000円）  
（地域福祉推進事業 当協議会 300,000円）

## ③ 共同募金推進計画（助成計画含む）の策定

委員会移行に伴い、中長期計画とした共同募金推進計画の策定に向けて検討してきたが、年度内の策定に至らなかったため、継続して策定に向けて検討していく。

## ④ 高知県共同募金会の地域力増進特別助成事業を活用した事業の実施

高知県共同募金会助成金を活用し、共同募金事業の啓発を行うとともに地域福祉活動推進計画に基づき以下の事業を実施した。

ア. くらし何でも相談会発展拡張事業

イ. 赤い羽根お仕事応援プロジェクト

ウ. 「ほおっちょけん」啓発事業

「ほおっちょけん」啓発資材を作成し、研修会等や住民の集まる場を活用して「おたがいさま」の住民意識づくりに努めた。

- ・ボランティアセンターパンフレット 600部
- ・ほおっちょけんピンバッジ 500個 ・ボールペン 300本

エ. 「ほおっちょけん」の想いの仲間づくり～ボランティアセンター機能強化事業～

ボランティアセンターの機能強化を図るため、ボランティアセンターの啓発、登録ボランティアに対する勉強会や先進地視察の実施を行い、担い手づくりと職員の質の向上に取り組んだ。

- ・ボランティアセンターの啓発（105回，791名）
- ・ボランティア活動者への情報発信（2,507通）

オ. 「ほおっちょけん」のまちづくり事業～出会い・学びのプラットフォーム～

地域住民に対する好事例の説明時に効果的に事例紹介するために、高知市を東西南北に分けた4圏域で一台ずつIpadを導入した。

また、福祉学習の場面では「ほおっちょけん学習サポーターフォローアップ研修」の際に各地区の事例や関係者の声を動画に起こし、より効果的な情報提供ができた。

カ. 高知市社協の取り組みを知ってもらおう！プロジェクト～キャラクターを活用した周知度アップ～

- ・「ほおっちょけん」の焼印付きお菓子 作成（配布）数：2,599個
- ・「ほおっちょけん」が描かれた作品 29点
- ・「ほおっちょけん」を印したエコバッグ(500個)、クリアファイル（1,000個）の作成

キ. 高知市社協の取り組みを知ってもらおう！プロジェクト～紙媒体を活用した周知度アップ～

高知市社協の年間の活動報告書を作成し、社協会員に配布（207部）をした。

## ⑤ 参考資料

### ◆募金実績額

| 区分        | 令和2年度（円）   | 令和元年度（円）   | 平成30年度（円）  |
|-----------|------------|------------|------------|
| 一般募金      | 29,613,773 | 30,788,060 | 31,226,994 |
| 歳末たすけあい募金 | 11,658,880 | 11,963,321 | 12,014,437 |
| 合計        | 41,272,653 | 42,751,381 | 43,241,431 |

### ◆会議研修等

| 実施日   | 会議                      |
|-------|-------------------------|
| 8月25日 | 令和2年度第1回高知市共同募金委員会運営委員会 |
| 9月25日 | 高知市共同募金委員会研修会           |
| 2月16日 | 令和2年度 高知市共同募金委員会審査委員会   |
| 3月26日 | 令和2年度第2回高知市共同募金委員会運営委員会 |

## ～ その他の事業 ～

### ① 各種助成事業の実施

#### ア. 名士チャリティ色紙展示即売会収益金の通所型事業所等への助成

県内外の著名人等のご協力により名士チャリティ色紙展示即売会を開催し、その収益金を、在宅で生活する障害者に就労の機会を提供する事業所等に助成した。

◆令和2年度名士チャリティ色紙展示即売会：令和2年11月28日・29日

#### ◆色紙売上状況

| 年度     | 販売枚数（枚） | 金額（円）     |
|--------|---------|-----------|
| 令和2年度  | 283     | 5,004,563 |
| 令和元年度  | 331     | 3,958,810 |
| 平成30年度 | 334     | 3,580,887 |

#### ◆令和2年度助成状況

4事業所に総額603,000円を助成した。

#### イ. 各種団体等の活動への支援

＊高知市老人クラブ連合会：囲碁大会、連合会運営費への助成

＊障害者団体：高知県肢体障害者協会（車いす用リフトバス助成）

＊高知市青少年育成協議会・高知市青蘭会・高知市ボランティア連絡会：活動助成

#### ウ. まごころ銀行からの助成

まごころ銀行に預託していただいた預託金をもとに、記念品を贈り激励した。

＊ひとり親家庭新入学児童を祝う会（小学生3名）

＊施設児童生徒の修学旅行助成金（小学生17名・中学生7名）

### ② 福祉機器等の貸出し

市民や各団体から寄贈された福祉機器等を、介護保険制度によるサービスを受けられない市民等を対象に、無料で短期間（原則1か月）の貸出しを行い、在宅生活を支援した。また、地域の祭りやイベント等で使用するため、地域の団体等に綿菓子機、かき氷機の貸出しを行った。

#### ◆貸出状況

|    | 車いす | 綿菓子機 | かき氷機 | その他 |
|----|-----|------|------|-----|
| 件数 | 82  | 10   | 2    | 1   |

### ③ 無料法律相談の実施

法テラス高知と協力し、毎月月末に本協議会の相談室にて無料法律相談を行った。

### 3. 地域住民が自立した生活を営むことができるための権利擁護体制の確立

#### (1) 成年後見サポートセンター事業

成年後見制度や日常生活自立支援事業に関する問合せや将来に対する不安を抱えた相談者から、様々な権利擁護に関する相談が寄せられた。また、生活困窮者支援や障害者相談支援等との社協内連携による対応事例も増加している。課題解決が困難な事例に対しては、関係機関・行政と連携した支援を実施し、解決に向けた支援を行った。

##### ① 初期相談

| 初期相談件数 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 |
|--------|-------|-------|--------|--------|
|        | 390   | 410   | 452    | 385    |

##### ①-1 初期相談における相談者内訳

| 相談者 | 本人 | 親族 | 知人 | 後見人等 | 関係機関 | その他 | 合計  |
|-----|----|----|----|------|------|-----|-----|
| 件数  | 46 | 72 | 10 | 0    | 252  | 10  | 390 |

##### ①-2 相談に至る理由（複数計上）

| 相談に至った理由    | 件数  | 相談に至った理由       | 件数  |
|-------------|-----|----------------|-----|
| 身元保証人がいない   | 26  | 権利侵害           | 5   |
| 入院・入所手続きが必要 | 14  | 市民後見人受任        | 5   |
| 相続手続き       | 10  | 出前講座           | 6   |
| 財産管理        | 32  | 将来の不安          | 57  |
| 福祉サービスの利用手続 | 3   | 成年後見制度         | 113 |
| 定期預金の解約     | 6   | これからあんしんサポート事業 | 40  |
| 保険手続き       | 3   | その他            | 6   |
| 日常的な金銭管理    | 163 | 合計             | 489 |

##### ①-3 初期相談における相談対象者の年代内訳

| 年代内訳  | 件数 | 年代内訳  | 件数  |
|-------|----|-------|-----|
| 20歳未満 | 3  | 70代   | 86  |
| 20代   | 3  | 80代   | 95  |
| 30代   | 12 | 90代以上 | 40  |
| 40代   | 17 | 年齢不明  | 46  |
| 50代   | 19 | 対象者なし | 40  |
| 60代   | 29 | 合計    | 390 |

##### ①-4 初期相談における相談対象者障害区分内訳

| 障害区分内訳    | 件数  | 障害区分内訳 | 件数  |
|-----------|-----|--------|-----|
| 認知症       | 127 | 判断能力あり | 36  |
| 知的障害      | 27  | 状況不明   | 48  |
| 精神障害      | 37  | 対象者なし  | 50  |
| その他の疾病や障害 | 65  | 合計     | 390 |

## ② 法人後見受任事業

関係機関と連携・協力し、本人に寄り添った支援を心がけ、対応困難なケースについては高知市成年後見サポートセンター運営委員会にて協議し、助言を受け支援に努めた。

| 累計<br>件数                          |       | 後見 | 保佐 | 補助 | 後見<br>監督等 | 未成年<br>後見 | 合計 |
|-----------------------------------|-------|----|----|----|-----------|-----------|----|
| 平成18年4月<br>【法人後見開始】から<br>令和元年度末まで | 延受任数  | 22 | 5  | 0  | 6         | 2         | 35 |
|                                   | 延終了数  | 13 | 0  | 0  | 5         | 1         | 19 |
|                                   | 実受任数  | 9  | 5  | 0  | 1         | 1         | 16 |
| 令和2年度                             | 新規受任数 | 0  | 0  | 0  | 2         | 0         | 2  |
|                                   | 終了数   | 1  | 0  | 0  | 0         | 0         | 1  |
| 令和2年度末累計                          | 延受任数  | 22 | 5  | 0  | 8         | 2         | 37 |
|                                   | 延終了数  | 14 | 0  | 0  | 5         | 1         | 20 |
|                                   | 実受任数  | 8  | 5  | 0  | 3         | 1         | 17 |

## ③ 広報・啓発活動（出前講座等）

関係機関や地域住民に対して、成年後見制度や日常生活自立支援事業、これからあんしんサポート事業などの権利擁護に関する広報啓発を行った。

### ◆事業啓発

| 日程            | テーマ                           | 対象者（出前先）        | 人数      |
|---------------|-------------------------------|-----------------|---------|
| 10月11日        | 日常生活自立支援事業について                | 独立行政法人自動車事故対策機構 | 12名     |
| 10月17日        | 日常生活自立支援事業・これからあんしんサポート事業について | 認知症家族の会         | 10名     |
| 1月22日         | 日常生活自立支援事業について                | 四国税理士会          | 18名     |
| 令和2年度合計件数・参加者 |                               |                 | 3件・40名  |
| 令和元年度合計件数・参加者 |                               |                 | 6件・291名 |

### ◆講師派遣

| 日程    | テーマ・開催概要              | 依頼元（対象者）   |
|-------|-----------------------|------------|
| 7月29日 | 日常生活自立支援事業における支援活動の実際 | 高知県立大学（学生） |

## ④ 市民後見人養成講座修了者に対する実務実習の開催

平成30年度及び令和元年度市民後見人養成講座修了者に対して、実務実習を開催し、3名を市民後見人材バンクに登録した。また、現任者の市民後見活動に対しては、後見監督人として活動支援を行うとともに、フォローアップ研修を2回開催した。

### ◆市民後見人材バンク登録者数

| 令和2年度 | 令和元年度まで | 登録辞退者 | 実登録者数 |
|-------|---------|-------|-------|
| 3名    | 26名     | 8名    | 21名   |

## ⑤ 関係機関との連携

成年後見制度を円滑に活用できるよう、支援会議を月一回程度開催し、成年後見事業を担当する行政職員・弁護士等と困難ケースの検討を行った。

相談支援機能の充実に目的に、成年後見制度・日常生活自立支援事業調査研究会に参加し、各専門職団体・行政とのネットワーク構築に努めた。

また、家庭裁判所主催の成年後見利用促進に向けた意見交換会へ参加し、利用促進に向けた体制等について話し合いを行った。

## (2) 日常生活自立支援事業

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な方に対し、自立した地域生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等の支援を行った。初回相談件数119件のうち24件が日常生活自立支援事業の契約につながった。また、契約終了は24件で、解約理由は死亡9件、成年後見人等への移行4件、本人申し出11件（うち3件が保佐人等に繋がった）であった。

### ① 相談・援助件数

| 事項 \ 対象 | 本事業の利用に関するもの |           |           |     | その他 | 合 計   | 令和元年度 |
|---------|--------------|-----------|-----------|-----|-----|-------|-------|
|         | 認知症<br>高齢者   | 知的<br>障害者 | 精神<br>障害者 | その他 |     |       |       |
| 問合せ件数   | 0            | 0         | 0         | 1   | 0   | 1     | 13    |
| 初回相談件数  | 60           | 14        | 17        | 28  |     | 119   | 135   |
| 相談援助件数  | 1,883        | 1,861     | 1,683     | 554 |     | 5,981 | 6,744 |
| 合計      | 1,943        | 1,875     | 1,700     | 583 | 0   | 6,101 | 6,892 |

※ 問合せ件数は、制度や事業についてのみの問合せ

### ② 契約件数

| 区分     |     | 認知症<br>高齢者 | 知的<br>障害者 | 精神<br>障害者 | その他 | 合計   |
|--------|-----|------------|-----------|-----------|-----|------|
| 令和2年度末 | 契約数 | 57件        | 71件       | 33件       | 15件 | 176件 |
| 令和元年度末 | 契約数 | 57件        | 67件       | 34件       | 18件 | 176件 |

### ③ 年度別契約件数

| 区分 \ 年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 累計   |
|---------|--------|--------|--------|-------|-------|------|
|         |        |        |        |       |       |      |
| 契約者     | 30件    | 36件    | 26件    | 27件   | 24件   | 535件 |
| 解約者     | 26件    | 27件    | 30件    | 33件   | 24件   | 359件 |
| 年度末     | 176件   | 185件   | 181件   | 176件  | 176件  |      |

### ④ 成年後見制度への移行

判断能力の低下などにより日常生活自立支援事業の継続が困難となった利用者に対し、成年後見制度へ繋ぐ支援を行った。

### (3) これからあんしんサポート事業

単身世帯等で頼れる親族がいないという生活課題に対し、本人が判断できる間に、高知市社会福祉協議会と契約することにより、認知症などによる判断能力が低下した場合の権利擁護支援や死後事務委任契約による死後の支援を行う。

#### ① 初期相談件数について

| 初期<br>相談件数 | 令和2年度 | 令和元年度 | 事業開始（平成29年4月）からの累計 |
|------------|-------|-------|--------------------|
|            | 42件   | 94件   | 331件               |

#### ①-1 初期相談の状況

##### ◆相談者の状況

| 相談者 | 本人  | 家族・親族 | 友人・知人 | 関係機関 | その他 | 合計  |
|-----|-----|-------|-------|------|-----|-----|
| 件数  | 17件 | 0件    | 0件    | 23件  | 2件  | 42件 |

##### ◆相談内容

| 相談<br>内容 | 事業に<br>関すること | 事業利用に<br>関すること | 講師派遣 | 視察 | その他 | 合計  |
|----------|--------------|----------------|------|----|-----|-----|
| 件数       | 15件          | 25件            | 0件   | 0件 | 2件  | 42件 |

#### ② 契約者数

|      | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 合計 |
|------|--------|--------|-------|-------|----|
| 契約者数 | 2件     | 1件     | 1件    | 4件    | 8件 |

### (4) 生活福祉資金貸付等事業

低所得、障害・高齢者世帯を主な対象として、資金の貸付と必要な相談支援を行った。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により収入が減少した世帯を対象にした特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）は収束がみられないことから、受付期間が数度延長され、25,050件と昨年度と比較すると約6倍の相談が寄せられた。特に4、5月は相談が多く、大規模な会場での、県社協や社協他部署の応援を得ながら1日170件を超える相談受付の対応を行った。高知市内では飲食業、建設業、接客業など幅広い職種で影響がみられた。令和2年度累計で約1万3千世帯、総額約50億円の貸付申請の受付を行った。

一方、従来の生活福祉資金の申請については、前年度とほぼ変わりなく、家電製品や教育支援資金等が主であった。世帯状況としては、生活保護受給世帯やひとり親世帯が多かった。令和2年度は、様々な事情で調査委員会が開催できず、調査委員会の必要性等については令和3年度の課題として取り組む予定である。

#### ① 月別相談件数

| 4月             | 5月             | 6月             | 7月             | 8月             | 9月               | 合計                    |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|-----------------------|
| 3,725<br>(217) | 3,430<br>(193) | 2,242<br>(187) | 2,093<br>(254) | 2,000<br>(264) | 1,818<br>(276)   | 25,050<br><br>(4,271) |
| 10月            | 11月            | 12月            | 1月             | 2月             | 3月               |                       |
| 1,315<br>(279) | 1,298<br>(245) | 1,544<br>(291) | 1,313<br>(238) | 1,899<br>(231) | 2,373<br>(1,596) |                       |

※（ ）は令和元年度件数

## ② 生活福祉資金貸付状況

| 資 金 種 別             |                             | 令和2年度    |                 | 令和元年度    |                 |
|---------------------|-----------------------------|----------|-----------------|----------|-----------------|
|                     |                             | 貸付<br>件数 | 貸付申請<br>受理金額(円) | 貸付<br>件数 | 貸付申請<br>受理金額(円) |
| 総合支援<br>資 金         | 生 活 支 援 費                   | 0        | 0               | 0        | 0               |
|                     | 住 宅 入 居 費                   | 0        | 0               | 0        | 0               |
|                     | 一 時 生 活 再 建 費               | 0        | 0               | 0        | 0               |
|                     | 小 計                         | 0        | 0               | 0        | 0               |
| 福祉資金                | 福 祉 費                       | 23       | 5,940,000       | 25       | 5,253,000       |
|                     | 緊 急 小 口 資 金                 | 11       | 1,012,000       | 9        | 867,000         |
|                     | 小 計                         | 34       | 6,952,000       | 34       | 6,120,000       |
| 教育支援<br>資 金         | 教 育 支 援 費                   | 12       | 5,486,000       | 10       | 4,292,000       |
|                     | 就 学 支 度 費                   | 15       | 5,827,000       | 16       | 5,164,000       |
|                     | 小 計                         | 27       | 11,313,000      | 26       | 9,456,000       |
| 不動産担<br>保 型<br>生活資金 | 不動産担保型生活資金                  | 0        | 0               | 0        | 0               |
|                     | 要 保 護 世 帯 向 け<br>不動産担保型生活資金 | 0        | 0               | 0        | 0               |
|                     | 小 計                         | 0        | 0               | 0        | 0               |
| 小 計                 |                             | 61       | 18,265,000      | 60       | 15,576,000      |
| 新型コロナ<br>特例貸付       | 緊急小口資金<br>(※再貸付分含む)         | 5,117    | 879,750,000     | 136      | 22,300,000      |
|                     | 総合支援資金                      | 3,710    | 1,943,280,000   |          |                 |
|                     | 延長                          | 2,393    | 1,252,750,000   |          |                 |
|                     | 再貸付                         | 1,743    | 910,810,000     |          |                 |
| 小 計                 |                             | 12,963   | 4,986,590,000   | 136      | 22,300,000      |
| 合 計                 |                             | 13,024   | 5,004,855,000   | 196      | 37,876,000      |

## ③ 高知市社会福祉金庫償還状況

令和2年度、残り1件であった債権も元金償還完了し、それに伴う延滞利子免除も確定したため、令和2年12月4日をもって事業終了となった。

## (5) 高知市障害者相談支援事業

高知市北部地区在住の障害児・者やその家族等を対象に、総合相談窓口として、生活上の困り事への対応と自立に向けた支援を行った。例年に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響による不安の解消に関する相談が多く寄せられた。

福祉サービス利用に繋がらない方には、診断確定のための医療機関受診や家計改善のための債務整理等に取り組んだ。また、ソーシャルアクションとして、高知市自立支援協議会にて圏域の現状や課題分析の報告を行った。

### ◆相談実績

| 区分            | 令和2年度 | 令和元年度 |
|---------------|-------|-------|
| 相談者数          | 807   | 868   |
| 新規相談者数        | 330   | 301   |
| セルフプラン作成支援数   | 107   | 71    |
| 特定相談支援事業所紹介件数 | 58    | 35    |



◆障害種別及び対応件数

| 障害種別    | 令和2年度       |          | 令和元年度       |          |
|---------|-------------|----------|-------------|----------|
|         | 対応件数 (330名) |          | 対応件数 (297名) |          |
|         | 障害児 118名    | 障害者 212名 | 障害児 90名     | 障害者 207名 |
| 身体障害    | 0           | 35       | 3           | 44       |
| 重症心身障害  | 1           | 0        | 3           | 0        |
| 知的障害    | 17          | 29       | 16          | 16       |
| 精神障害    | 6           | 99       | 0           | 93       |
| 発達障害    | 76          | 15       | 51          | 15       |
| 高次脳機能障害 | 0           | 3        | 0           | 4        |
| 難病      | 0           | 5        | 0           | 6        |
| 身体・知的   | 1           | 1        | 0           | 2        |
| 身体・精神   | 0           | 1        | 0           | 1        |
| 知的・精神   | 1           | 0        | 0           | 0        |
| 知的・発達   | 5           | 0        | 0           | 1        |
| その他     | 0           | 2        | 2           | 2        |
| 匿名・詳細不明 | 11          | 22       | 15          | 23       |

◆相談支援内容

| 支援の内容              | 令和2年度 | 令和元年度 |
|--------------------|-------|-------|
| 福祉サービスの利用等に関する支援   | 2,184 | 2,519 |
| 障害や病状の理解に関する支援     | 738   | 927   |
| 健康・医療に関する支援        | 352   | 567   |
| 不安の解消・情緒安定に関する支援   | 1,003 | 192   |
| 保育・教育に関する支援        | 131   | 160   |
| 家族関係・人間関係に関する支援    | 205   | 406   |
| 家計・経済に関する支援        | 253   | 158   |
| 生活技術に関する支援         | 174   | 116   |
| 就労に関する支援           | 394   | 544   |
| 社会参加・余暇活動に関する支援    | 53    | 67    |
| 権利擁護に関する支援（虐待相談含む） | 26    | 29    |
| 住居支援               | 85    | 62    |
| その他                | 56    | 31    |
| 合計                 | 5,654 | 5,778 |

◆広報・啓発

| 実施日       | 会議・研修名など                      | 対象者  |
|-----------|-------------------------------|------|
| 11月21・23日 | キッズバリアフリーフェスティバルふくし総合フェア（待機型） | 当事者等 |
| 1月16日     | 特設電話くらし何でも相談会                 | 高知市民 |

(6) 障害支援区分認定調査

障害支援区分認定調査は、昨年度と比較して、約200件増加の818件の調査を実施し、令和2年10月からは訓練等給付等の一次判定調査を開始した。

また、認定調査員の面接技術等の確認及び向上のため、認定調査員が作成した調査票を所属の管理職がチェックする体制を構築し、適切な認定調査が図れるように努めた。

◆認定調査実績

| 区分   | 令和2年度 | 令和元年度 |
|------|-------|-------|
| 更新   | 818件  | 602件  |
| 区分変更 | 15件   | 0件    |
| 新規   | 56件   | 0件    |

## (7) 生活困窮者支援（高知市生活支援相談センター）

### ① 自立相談支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、相談者の複合的な課題に対して、本人の意思を十分に確認することを通じて、個々の状況に応じた支援計画を作成し、関係機関と連携した包括的支援に努めた。

特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け住居確保給付金の対象者が拡充されたことに伴い、令和元年度から開始された特例貸付の受付と併せて困難な状況に置かれる生活困窮者の相談対応を行い、必要な支援・制度へのつなぎを実施した。体制的に厳しい状況であったが、コロナ禍の中で生活の困りごとを複合的に抱えている方に対して、高知市東西南北のエリアを担当する相談支援員が問題解決に向けて相談者に寄り添い、自立のための支援を行った。

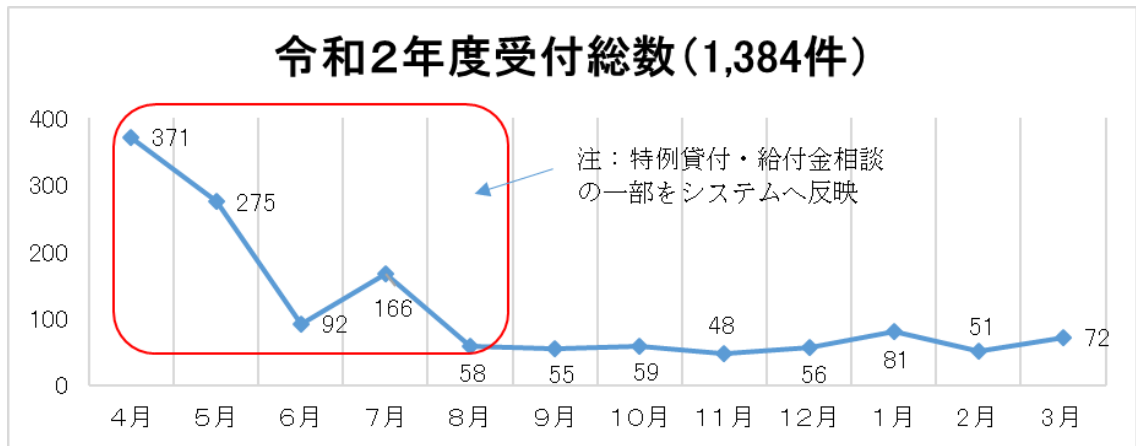
また、くらし何でも相談会を、感染予防の観点から特設電話相談会に開催手法を変えて潜在的な生活困窮者のアウトリーチに取り組んだ他、住居確保給付金対象者への就労支援に特に力を入れて取り組み、初期相談件数、就労支援対象者数については、昨年度に比べ増加している。

一方で、経済的困窮世帯の支援においては生活保護制度に対するスティグマなどの問題から第2のセーフティネットから再度狭間に陥ってしまうケースが見受けられ、今後、より伴走型の関わりと各制度における柔軟な対応が求められる。

ア. 初期相談件数（※本人特定ケース：初期相談受付後にセンターへ来所等で本人を特定できたケース）

|    | 受付総数<br>(本人未特定<br>ケース含む) | 受付総数<br>(本人特定ケー<br>ス※のみ) | 本人特定ケースのうち、相談経路内訳 |       |                |     |
|----|--------------------------|--------------------------|-------------------|-------|----------------|-----|
|    |                          |                          | 本人                | 家族・知人 | 関係機関等<br>からの紹介 | その他 |
| 件数 | 1,384                    | 1,104                    | 891               | 51    | 162            | 0   |

#### ◆月別初期相談件数



イ. 男女比率（本人特定ケース 1,104 件）

| 性別 | 男性  | 女性  |
|----|-----|-----|
|    | 577 | 527 |

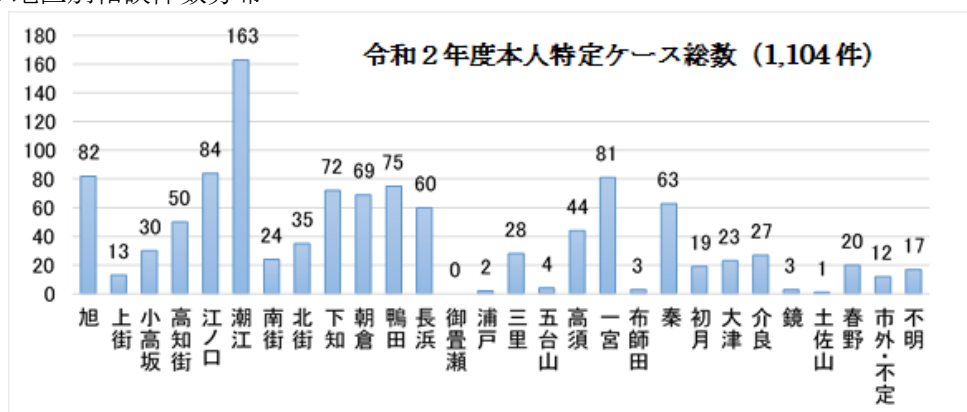
ウ. 年代別（本人特定ケース 1,104 件）

| 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 5   | 125 | 178 | 250 | 233 |
| 60代 | 70代 | 80代 | 90代 | 不明  |
| 163 | 108 | 17  | 3   | 22  |

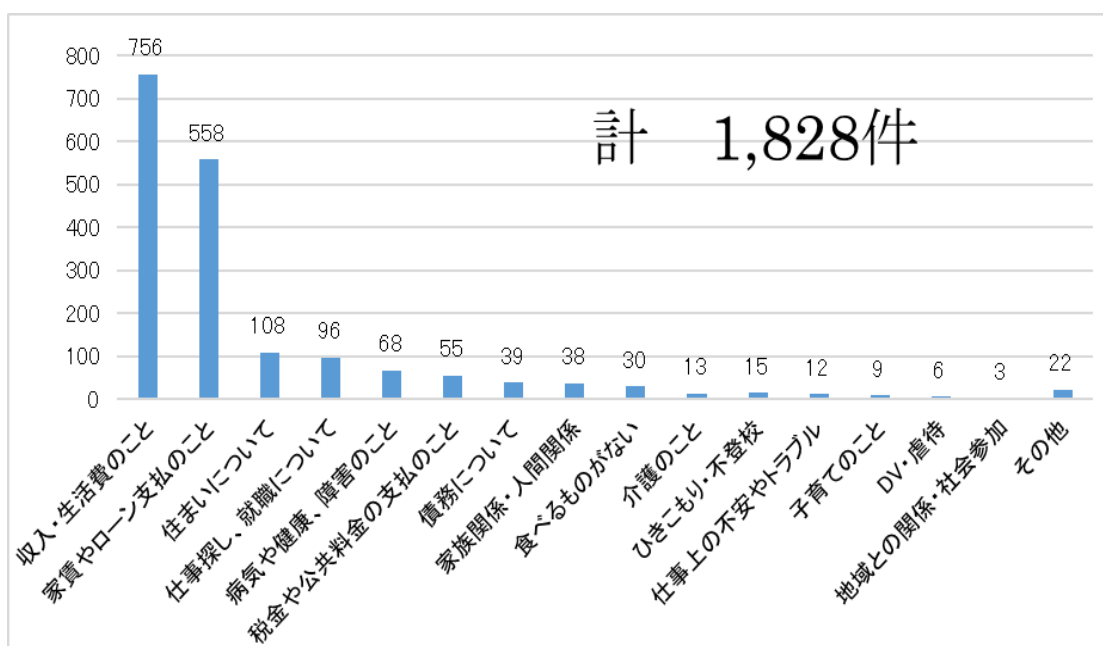
エ. 地区別相談件数（本人特定ケース1,104件）

| エリア別 | 東   | 西   | 南   | 北   | 市外 | ホームレス |
|------|-----|-----|-----|-----|----|-------|
|      | 198 | 248 | 245 | 384 | 12 | 17    |

◆地区別相談件数分布



オ. 相談内容詳細 (複数計上)



カ. 対応・方針 (スクリーニング) 結果

| スクリーニング実施ケース数 |                  | 1,072件 |
|---------------|------------------|--------|
| うち            | 情報提供・相談対応のみで終了   | 117件   |
|               | 他制度・他機関等へのつなぎ    | 892件   |
|               | 本人未同意、同意に向けて取り組む | 4件     |
|               | 継続支援し、プラン策定      | 59件    |
|               | スクリーニング判断前に中断・終了 | 0件     |

キ. 自立相談支援事業において継続支援を行う上で本人と作成する支援計画 策定状況

| 支援プラン策定件数 (ケース重複あり) |          | 232件 |
|---------------------|----------|------|
| うち                  | 新規プラン策定  | 136件 |
|                     | 再プラン策定   | 96件  |
| 令和2年度中の評価実施件数       |          | 207件 |
| うち                  | 再プランして継続 | 96件  |
|                     | 中断       | 2件   |
|                     | 終結       | 109件 |

## ② 住居確保給付金

新型コロナウイルスの影響により、令和2年4月に制度対象者が拡大され、自立相談支援事業における相談者のうち離職・廃業から2年以内または休業等により収入が減少し、離職等と同程度の状況にある方に対し、就労支援と併せて一定期間の家賃相当額を高知市より給付することにより、自立を目指した支援を行った。制度改正に伴って高知市では補正予算を組み、センター内に給付金対応のため新たに臨時職員を4名配置し、特例貸付への対応と、並行してコロナ禍で住まいを失う恐れのある方に対して就労その他の包括的な支援を実施した。

令和元年度が相談件数20件に対して9名（10件）の決定であったが、令和2年度は相談件数が2,123件で、567件の新規申請を受理した。

## ③ くらし何でも相談会

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特設電話相談会に開催方式を変更して実施した。電話相談件数15件の内4件がひきこもりに関する相談内容であり、当事者からの相談もあったことから、従来の来所型相談会ではキャッチできなかった相談者にアプローチできたと考えている。

一方で、特設電話相談会では、こうちセーフティネット連絡会の関係機関には広報周知の協力を依頼する形に留めたが、貸付や給付金制度の終了後に生活困窮相談が増加することが予測されることから、令和3年度以降は、より効果的なアウトリーチの取り組みについて検討が必要である。

## ④ 一時生活支援事業

住居を失った生活困窮者に対し、借り上げ住宅（シェルター）への受け入れを行い、緊急的に衣食住の提供を行うとともに、生活再建や就労自立に向け取り組んだ。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大当初よりも、感染症の影響が長期化する中で、解雇や雇止めにより住み込みの住居を失う、または離職をきっかけに出身地等ゆかりのあった高知市での相談に至るケースが徐々に増え始め、現時点で事業利用者の約半数が新型コロナウイルス感染症による離職が原因となっている状況である。

なお、賃貸借契約期間満了に伴い、令和2年7月1日をもって当会のシェルターをより効率的な就職活動を目的として市内中心部へ移転した。その結果、就労支援機関への移動が容易となったことで、事業利用者の就職活動の負担が軽減され意欲向上に繋がっている。一方で、就職活動そのものが新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、経験や能力があったとしても希望職種での就労決定に繋がり難い現状がみられる。事業実施期間が定められている当事業において、限られた期間内に本人の能力や希望にできるだけ適した就労先へ繋がるのが事業終結後の就労継続に影響するため、画一的な就労支援ではなく、就労支援機関との連携強化と平行して多面的に就労支援を行える体制づくりがコロナ禍における今後の課題と思われる。

### ア. 入居実績 ※シェルター①（3室）、シェルター②（3室）

|             | シェルター① | シェルター② |
|-------------|--------|--------|
| 入居件数        | 8件     | 5件     |
| 入居人数        | 8名     | 5名     |
| 一人当たり平均利用日数 | 46.7日  | 37.8日  |
| 合計利用日数      | 389日   | 206日   |

※令和3年3月末時点で入居中の2件を除く。

## イ. 入居者分類

表1. 年齢内訳

| 類型<br>年代 | 単身<br>世帯 | 複数<br>世帯 |
|----------|----------|----------|
| 20歳未満    | 0名       | 0名       |
| 20代～30代  | 5名       | 0名       |
| 40代～50代  | 7名       | 0名       |
| 60代～70代  | 1名       | 0名       |
| 合計       | 13名      | 0名       |

表2. 性別内訳

| 性別 |      |
|----|------|
| 男性 | 11 名 |
| 女性 | 2 名  |
| 合計 | 13 名 |

表3. 入居時の状況

| 入居時の所在地  | 件数  | 入居に至る経緯(件)    | 件数   |
|----------|-----|---------------|------|
| 高知市内     | 7 件 | 離職により住居を失う    | 6 件  |
| 高知市外(県内) | 3 件 | 同居者との関係で住居を失う | 4 件  |
| 高知県外     | 3 件 | 家賃滞納で住居を失う    | 1 件  |
| 住所不定     | 0 件 | ホームレス         | 1 件  |
|          |     | 刑余者           | 1 件  |
|          |     | 合計            | 13 件 |

表4. 退去後の状況別分類（令和2年度退去件数11件を分類）

| 状況                          | 件数 |
|-----------------------------|----|
| 生活保護以外での新たな住居の確保等(就労自立)     | 6件 |
| 新たな住居の確保（生活保護）              | 1件 |
| 自立相談支援の継続を断り、自らの意思で退去した(中断) | 4件 |

### ⑤ 家計改善支援事業

令和2年度は、自立相談支援・就労準備訓練と同一機関で事業を実施し、包括的な支援を行った。

また、地域協働課と連携し、春野高校3年生を対象とした公的扶助に関する講話を実施した。今後は、春野高校以外にも出前講座を実施し、貧困の連鎖の予防に努める。

8月から家計改善支援に加え北部圏域の自立相談支援員も担っている状況であったが、令和3年1月から家計改善支援員1名増員し、体制を強化した。生活困窮者の多くは家計面に課題を抱えており、本来の対象者を丁寧に支援していくため、正職2名体制となった令和3年度以降も家計改善支援員のスキルアップに努める必要がある。

#### ア. 実績（平成30年度からの延べ件数）

| 対象者数       | 支援プラン作成に至った人数 | プランに至らなかった人数 |
|------------|---------------|--------------|
| 19 (116) 名 | 11 (76) 名     | 8 (40) 名     |

#### イ. 支援内容（平成30年度からの延べ件数）

|               |            |             |
|---------------|------------|-------------|
| 家計の整理に向けた支援   | 家計表作成や見直し  | 151 (489)   |
|               | 電話相談       | 333 (1,332) |
|               | 訪問相談       | 42 (209)    |
|               | 来所相談       | 82 (323)    |
| 債務整理に向けた支援    | 法律相談同行     | 4 (26)      |
| 税・保険料の滞納整理    | 分納計画の策定    | 14 (69)     |
|               | 市役所窓口への同行  | 0 (65)      |
| 貸付その他の公的な制度斡旋 | 生活福祉資金     | 5 (8)       |
|               | 住居確保給付金    | 1 (5)       |
|               | 失業給付       | 0 (2)       |
| 金銭管理へのつなぎ支援   | 日常生活自立支援事業 | 1 (3)       |

国民健康保険料（後期高齢者医療保険料を含む）納付実績※保険医療課提供

|          | 総額（円）     | 納付額（円）    | 納付率 |
|----------|-----------|-----------|-----|
| 対象者（44名） | 4,961,541 | 3,137,731 | 63% |

## ⑥ 就労準備支援事業

一般就労が困難な人に対して、就労に向けた基礎能力をつけることを目的に事業を実施した。令和2年度は、学校卒業後の就職で会社に馴染めず短期離職した方や、長期的な不登校により社会に出るきっかけに乏しい方など、若年層の新規対象者が増えた。就労への意欲は高く、希望に応じて企業開拓やプログラムの拡充など、就労に向けた支援の充実を図ることができた。

また、就労決定者の中には事業利用前も就職活動をしていたが、就労に至らなかった方もおり、「どんな仕事をしたいかわからない」「朝起きることができない」など日常生活や社会生活に課題がある場合もあった。事業を通じて生活習慣の改善や就労に向けた自己覚知を図り、求人応募・採用につながるなど、就労に至るまでの日常生活から支援することで、柔軟な就労準備支援につながった。

その他、一般就労が目標ではないが、他の制度やサービスの対象にならず、通う場所や過ごす場所が確保できない方々に対して、社会参加の機会を提供する場としてもプログラムを活用した。令和2年度は50代以上の対象者2名への支援実施や、就労自立後自宅と仕事場の往復で孤立を感じていた60代の“元”対象者1名へもプログラムの参加を促し、第三の場として活用するなど、社会的孤立に対する就労自立以外の出口支援の充実も図った。

### ア. 就労阻害要因の内容※重複あり(上位項目を抜粋)

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 何らかの障害有り（疑い含む）     | 11（69%） |
| 自宅に閉じこもって過ごした経験がある | 9（56%）  |
| 生活費の困り             | 9（56%）  |
| 社会経験の不足            | 8（50%）  |

### イ. 年齢・性別内訳（名）

| 年代  | 男性 | 女性 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 20代 | 2  | 2  | 4  |
| 30代 | 1  | 0  | 1  |
| 40代 | 3  | 1  | 4  |
| 50代 | 4  | 4  | 8  |
| 60代 | 2  | 0  | 2  |
| 合計  | 12 | 7  | 19 |

### ウ. 支援状況（名）全19件

|                        |              |    |
|------------------------|--------------|----|
| 終結<br>（終結9名中<br>4名が就労） | 定着(就職後6ヶ月経過) | 4  |
|                        | 体調不良、悪化      | 2  |
|                        | 生活保護受給       | 1  |
|                        | 本人による辞退      | 2  |
| 就労準備支援プログラムにて継続支援中     |              | 10 |

### エ. 就職状況 就職決定者4名

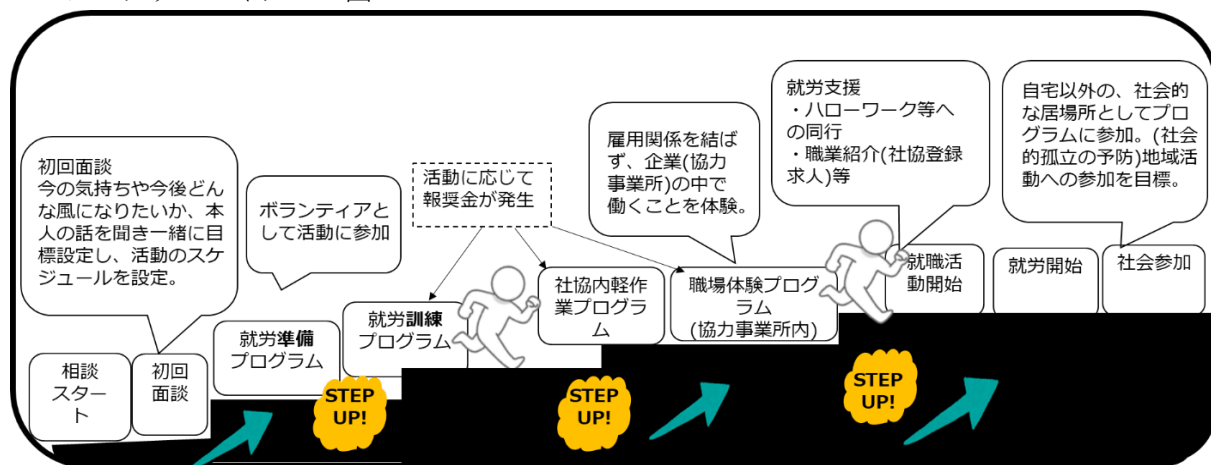
|   | 仕事内容          | 雇用形態  | 現在                       |
|---|---------------|-------|--------------------------|
| ① | 運搬・清掃・包装等（運搬） | アルバイト | 就労定着                     |
| ② | 運搬・清掃・包装等（運搬） | アルバイト | 就労定着                     |
| ③ | 専門的・技術的職業（介護） | アルバイト | 就労定着(就職して6ヶ月経過後に体調不良で離職) |
| ④ | 運搬・清掃・包装等（清掃） | アルバイト | 就労定着                     |



## オ. 就労準備支援プログラム

就労準備支援プログラムでは、日常生活や社会生活での自立を目指した各プログラムを実施。令和2年度はプログラムを段階ごとに整理し、目的や作業内容の整理を行った。

### ◆プログラムのイメージ図



### ◆プログラム実施状況

| プログラム種別     | 内容                           | 参加人数<br>(重複あり) | 実施回数  |
|-------------|------------------------------|----------------|-------|
| 就労準備プログラム   | 古切手整理, 封筒作成, シール貼り, 農作業等     | 12 名           | 95 回  |
| 就労訓練プログラム   | カレンダー作成, パンフレット・封筒住所修正,      | 9 名            | 140 回 |
| 社協内軽作業プログラム | タイムカード作成, 裏紙メモ作成, 薪割作業, 農作業等 | 3 名            | 63 回  |
| 職場体験プログラム   | 農家での育成援助・清掃会社の事務作業           | 2 名            | 13 回  |
| 社会参加プログラム   | 上記内容に加え新規対象者見守り, 声掛け等        | 4 名            | 145 回 |
| 合計          |                              | 30 名           | 456 回 |

## カ. あんしんファーム

きずな農園での農作業は参加希望者も多いが、送迎人数に上限があるため、希望者全員が参加できないことがプログラムの課題となっていた。そこで、令和2年12月から総合あんしんセンターの事務所内でプランターを用いて園芸・農作業を開始。

定期的に地域住民の有志を招き、様々な交流も図ることができた。プランターは、総合あんしんセンター敷地内の通路脇に移転し、来訪者や職員などたくさんの人が見るようになっていく。

各プログラムの事務作業については、各課の職員の業務負担軽減とプログラム内容の充実を目的に業務の切出しを行っている。令和2年度は、社協内5課1事業所から事務仕事の切出しを実施。これら仕事の切出しや、あんしんファーム等の活動の可視化により内外への事業理解を進めていく。

### 【種の植え方を教える地域住民】



## キ. 新規協力事業所の開拓

令和2年度は、12ヶ所の企業へ事業説明を行い、新たに7ヶ所の企業・団体が協力事業所となった。総数は20ヶ所となっている。特に、令和2年度新たに登録したトマト農業と清掃業を営む企業2社にて、それぞれ20代の男女1名ずつが職場体験プログラムを実施。1名は現在熱心に就職活動を行っており、就労意欲の喚起が図られた。また、もう1名は3月からプログラムの利用を開始し、熱心にプログラムに参加する姿が企業担当者の印象に残り高評価を得ている。企業からも人材育成や社会貢献への前向きな意識改革があったとの意見が出るなど事業理解が進んだことから、今後もさらに企業との連携に力を注いでいく。

### ⑦ 認定就労訓練事業

令和元年度8月から、高知市から認定就労訓練事業所としての認可を受け実施。令和2年度は9名を140日間受入れた。高知市認定就労訓練事業所協力金から、プログラム参加者への報奨金として支払い、就労への意欲向上に努めた。

#### ◆受入実績

| 事業所     | 内容            | 受入人数(重複) | 受入日数 |
|---------|---------------|----------|------|
| しごとづくり課 | 農作業           | 8名       | 52日間 |
| 共に生きる課  | 事務作業・請負作業(薪割) | 8名       | 88日間 |

### ⑧ 赤い羽根お仕事応援プロジェクト

認定就労訓練事業の報奨金の対象期間では、ステップアップで就労に結び付けることが難しいという課題に対し、それを補う形で令和元年度からプロジェクトを新設。赤い羽根共同募金の助成金の中から、追加で3ヶ月間報奨金を対象者へ支払うことで、就労への意欲喚起を目指した。

職場体験プログラムでは、実際の企業の中で働くことを体験することで、就労を具体的に考えることができるとともに、初対面の方々と過ごすことを通じてコミュニケーション能力の向上など、就労に必要なスキルアップを目指した。

また、令和2年度は初の試みとして地域住民が有償ボランティアとして活動に参加し、事業利用者と共に野菜や花を植えたり、草引きをしたりすることで、それぞれの立場や考え方を知るきっかけとなり、相互理解につながっている。

#### ◆受入実績

| 項目          | 事業所     | 内容         | 受入人数(重複) | 受入日数 |
|-------------|---------|------------|----------|------|
| 社協内軽作業プログラム | しごとづくり課 | 農作業        | 3名       | 20日間 |
|             | 共に生きる課  | 事務作業・薪割作業  | 2名       | 36日間 |
|             | 在宅生活応援課 | 事務作業       | 1名       | 7日間  |
| 職場体験プログラム   | 協力事業所①  | 農作業(トマト栽培) | 1名       | 1日間  |
|             | 協力事業所②  | 清掃関連(事務作業) | 1名       | 12日間 |
|             |         | 合計         | 8名       | 76日間 |



## ⑨ 無料職業紹介事業

生活困窮者への就労支援強化の一環で、独自開拓した事業所への雇用のつながりが柔軟に実施できるよう、令和2年1月に高知労働局から許可を受け、無料職業紹介事業を開設し、令和2年度は、新たに3件の求人を登録、内2件を求職者へ紹介し採用となっている。結果としては2名とも短期離職になってしまったが、紹介時、職業内容の伝達事項を工夫するなど、求職者に配慮した職業紹介を目指した。

また、求職活動が困難な高年齢の方へも紹介できるような求人や、労働時間や対人関係への不安などから既存の求人への応募はためられる方への配慮もできるような求人の開拓など、柔軟な職業紹介ができるように検討していく。

### ◆求職求人実績

| 求人業種  | 詳細              | 求職登録件数    | 職業紹介状況           |
|-------|-----------------|-----------|------------------|
| 林業従事者 | 薪割作業(パート・アルバイト) | 1件(70代男性) | 採用後、数日で離職。(体調不良) |
| 運搬従事者 | チラシ配り(請負)       | 1件(50代女性) | 採用後、数日で離職。(自己都合) |
| 清掃従事者 | 病院内の清掃業務・アルバイト  | 0件        |                  |

## ⑩ 生活支援相談センター運営委員会

令和2年度は新型コロナウイルス感染予防の対策を行いつつ、6月・3月にそれぞれ定例開催した。運営委員には住居確保給付金の制度改正に伴うセンター事業の状況を報告するとともに、コロナ禍におけるアウトリーチの取り組みや、増加傾向にある生活困窮者への柔軟な対応について専門的立場からの意見をいただき事業運営への反映に努めた。

## ⑪ こうちセーフティネット連絡会 (令和3年3月31日現在 32団体)

令和2年度は新型コロナウイルスの感染予防の観点から、多人数開催となる全体会は中止とした。その間、各関係機関や団体がコロナ禍における独自の取り組みや様々な工夫をしつつ、支援を行ってきた現状の共有を図れるよう、1月から2月にかけて参加団体対象のアンケート調査を実施し、3月に結果をフィードバックした。

関係団体から寄せられたアウトリーチ型支援が積極的に進められなくなっていた状況や、生活困窮課題の重度化などの課題に対しては引き続き連絡会を通じて情報交換と連携を強化して取り組んでいく必要がある。

## ⑫ その他の支援

緊急一時的な物資や食料の提供を行うことで生活安定までのつなぎ支援を実施した。特に令和2年度は新型コロナウイルスの影響下で特例貸付入金までの食事に困るなど、生活に行き詰った相談者に対する対応が増加した。

### ◆食品

|    | 件数   |
|----|------|
| 寄附 | 79件  |
| 提供 | 120件 |

### ◆物品

|    | 件数 | 内容        |
|----|----|-----------|
| 寄付 | 9件 | 家電・日用消耗品等 |
| 提供 | 4件 | 家電・食器類    |

#### 4. 地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるサービスの実施

介護保険及び障害福祉サービス指定事業者として、居宅介護支援事業、通所介護（生活介護含む）、訪問介護等在宅福祉サービスを実施し、要援護者（高齢者及び障害者）の自立した生活と社会参加の推進に努めた。

##### (1) 介護保険事業の推進

###### ① 居宅介護支援事業の推進

居宅サービス等を適切に利用できるよう要介護者等の心身の状況、本人や家族の希望等を受けて介護サービス計画を作成し、サービス確保のため事業者等との連絡調整等に努めた。総合あんしんセンターの居宅介護支援事業所は、令和2年度末をもって閉所するまで、本人、家族の支援はもちろん社会資源の活用、発掘に努めた。

◆居宅介護支援事業延利用者数※予防：総合事業を含む

(単位：名)

| 事業所<br>年度 | あんしん |      | 土佐山 |     | 春野  |     | 合計    |     |
|-----------|------|------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
|           | 介護   | 予防   | 介護  | 予防  | 介護  | 予防  | 介護    | 予防  |
| 令和2年      | 380  | 19   | 470 | 76  | 428 | 211 | 1,278 | 306 |
| 令和元年      | 529  | 181  | 441 | 87  | 459 | 128 | 1,429 | 396 |
| 増減        | △149 | △162 | 29  | △11 | △31 | 83  | △151  | △90 |

###### ② 通所介護事業の推進

土佐山デイサービスセンター及び介護センターあじさい会館において、入浴、食事、機能訓練等の各種サービスを実施し、在宅要援護高齢者に対する生活支援を行った。

土佐山デイサービスセンターにおいては、平成31年4月に通常規模型通所介護から少人数で生活圏域に密着したサービスの地域密着型通所介護に移行し、運営推進会議を半年ごとに開催し、地域住民等の意見を聞きながらサービス提供に努めた。

南部障害者福祉センターにおいては、障害のある方が高齢になっても利用し慣れた事業所で継続した支援が受けられるよう「共生型通所介護」を令和2年3月に開所した。これにより、介護保険移行後（65歳以上）も継続した支援が提供できる体制が整った。利用実績は2名の利用である。

◆通所介護事業延利用者数※予防：総合事業含む ※生きがいデイサービスを除く

(単位：名)

| 事業所<br>年度 | 土佐山   |     | 春野    |       | 合計     |       |
|-----------|-------|-----|-------|-------|--------|-------|
|           | 介護    | 予防  | 介護    | 予防    | 介護     | 予防    |
| 令和2年      | 3,832 | 328 | 7,474 | 1,277 | 11,306 | 1,605 |
| 令和元年      | 4,001 | 300 | 8,016 | 881   | 12,017 | 1,181 |
| 増減        | △169  | 28  | △542  | 396   | △711   | 424   |

### ③ 訪問介護事業・介護予防訪問介護事業の推進

日常生活を営むのに支障がある要援護者（高齢者）世帯に対してホームヘルパーを派遣し、身体介護、生活援助等のホームヘルプサービスを行った。

◆ホームヘルパー派遣時間と件数【まるのうち事業所】（単位：時間）

| 年度    | 介護    |        |          |          |          | 総合事業  |         |       |        |          |
|-------|-------|--------|----------|----------|----------|-------|---------|-------|--------|----------|
|       | 派遣回数  | 派遣時間   |          |          |          | 派遣回数  | 派遣時間    |       |        |          |
|       |       | 身体介護   | 生活援助     | 身体生活     | 合計       |       | 独自Ⅰ     | 独自Ⅱ   | 独自Ⅲ    | 合計       |
| 令和２年度 | 2,571 | 659.75 | 489.5    | 1,407.75 | 2,557    | 1,946 | 827.75  | 652.5 | 444.75 | 1,925    |
| 令和元年度 | 3,263 | 743    | 1,704    | 911.75   | 3,358.75 | 2,177 | 946     | 857.5 | 362.75 | 2,166.25 |
| 増減    | △692  | △83.25 | △1,214.5 | 496      | △801.75  | △231  | △118.25 | △205  | 82     | △241.25  |

◆ホームヘルパー派遣時間と件数【春野事業所】（単位：時間）

| 年度    | 介護    |       |        |       |          | 総合事業  |        |     |     |        |
|-------|-------|-------|--------|-------|----------|-------|--------|-----|-----|--------|
|       | 派遣回数  | 派遣時間  |        |       |          | 派遣回数  | 派遣時間   |     |     |        |
|       |       | 身体介護  | 生活援助   | 身体生活  | 合計       |       | 独自Ⅰ    | 独自Ⅱ | 独自Ⅲ | 合計     |
| 令和２年度 | 1,716 | 384.5 | 570.25 | 644.5 | 1,599.25 | 995   | 591.75 | 368 | 25  | 984.75 |
| 令和元年度 | 1,562 | 192.5 | 968.25 | 485   | 1,645.75 | 1,046 | 689    | 367 | 0   | 1,056  |
| 増減    | 154   | 192   | △398   | 159.5 | △46.5    | △51   | △97.25 | 1   | 25  | △71.25 |

## (2) 障害者総合支援事業

### ① 居宅介護等事業の推進

障害福祉サービス事業の指定サービス提供事業者として、居宅介護事業等（ホームヘルプサービス）、生活介護事業及び就労継続支援Ｂ型事業等の実施により、障害者福祉の向上に努めた。

◆ホームヘルパー派遣回数【まるのうち事業所】

| 年度    | 居宅介護 |                |                |       |       | 同行<br>援護 | 移動<br>支援 |
|-------|------|----------------|----------------|-------|-------|----------|----------|
|       | 身体介護 | 通院介助<br>(身体なし) | 通院介助<br>(身体あり) | 家事援助  | 合計    |          |          |
| 令和２年度 | 164  | 0              | 66             | 959   | 1,189 | 1,133    | 34       |
| 令和元年度 | 208  | 5              | 55             | 1,285 | 1,553 | 1,156    | 33       |
| 増減    | △44  | △5             | 11             | △326  | △364  | △23      | 1        |

◆ホームヘルパー派遣回数【春野事業所】

| 年度    | 居宅介護 |                |                |      |     | 同行<br>援護 | 移動<br>支援 |
|-------|------|----------------|----------------|------|-----|----------|----------|
|       | 身体介護 | 通院介助<br>(身体なし) | 通院介助<br>(身体あり) | 家事援助 | 合計  |          |          |
| 令和２年度 | 0    | 0              | 5              | 221  | 226 | 337      | 2        |
| 令和元年度 | 1    | 0              | 18             | 239  | 258 | 415      | 1        |
| 増減    | △1   | 0              | △13            | △18  | △32 | △78      | 1        |

## ② 生活介護等事業の推進

### ア. 生活介護事業

南部障害者福祉センターにおいて、介護を必要とする障害のある方を対象に、通所サービスを通じ、外出の機会確保や生活課題に対する支援や情報提供を行い、社会活動が促進されるようさまざまなレクリエーション活動を行った。

#### ◆南部生活介護事業実施状況

| 年度    | 実施<br>日数 | 利用者延人数 |       |       | 入浴サービス利用者延人数 |       |       |
|-------|----------|--------|-------|-------|--------------|-------|-------|
|       |          | 男      | 女     | 計     | 男            | 女     | 計     |
| 令和2年度 | 309      | 2,789  | 2,276 | 5,065 | 1,837        | 1,485 | 3,322 |
| 令和元年度 | 310      | 2,517  | 2,595 | 5,112 | 1,782        | 1,589 | 3,371 |
| 増減    | △1       | 272    | △319  | △47   | 55           | △104  | △49   |

### イ. 日中一時支援事業

南部障害者福祉センターにおいて、障害のある方等の日中活動の場の確保や、ご家族の就労継続支援および介護負担軽減などを目的として支援を実施した。

#### ◆南部日中一時支援事業実施状況

| 年度    | 実施<br>日数 | 利用者延人数 |     |     | 入浴サービス利用者延人数 |    |    |
|-------|----------|--------|-----|-----|--------------|----|----|
|       |          | 男      | 女   | 計   | 男            | 女  | 計  |
| 令和2年度 | 51       | 77     | 133 | 210 | 0            | 35 | 35 |
| 令和元年度 | 52       | 69     | 130 | 199 | 0            | 26 | 26 |
| 増減    | △1       | 8      | 3   | 11  | 0            | 9  | 9  |

### ウ. 共生型通所介護事業

南部障害者福祉センターにおいて、障害のある方が、介護保険移行後も利用しなれた事業所で支援を受けられるよう一体的に運営を行い、日中において要介護高齢者等を施設に迎え、排泄、入浴、食事等の介護及び創作活動やレクリエーション、外出等の機会を提供した。

#### ◆南部共生型通所介護事業実施状況

| 年度    | 実施<br>日数 | 利用者延人数 |   |     | 入浴サービス利用者延人数 |   |     |
|-------|----------|--------|---|-----|--------------|---|-----|
|       |          | 男      | 女 | 計   | 男            | 女 | 計   |
| 令和2年度 | 244      | 279    | 0 | 279 | 225          | 0 | 225 |

## ③ 基準該当生活介護事業の推進

土佐山デイサービスセンター及び介護センターあじさい会館において、指定通所介護事業所の余裕定員を活用し、介護を必要とする障害のある方を対象に、通所サービスを通じ、閉じこもりになりがちな生活を見直し、さまざまなプログラムを通じて、社会活動への積極的な参加を図った。

#### ◆土佐山基準該当生活介護事業実施状況

| 年度    | 実施<br>日数 | 利用者延人数 |   |     | 入浴サービス利用者延人数 |   |     |
|-------|----------|--------|---|-----|--------------|---|-----|
|       |          | 男      | 女 | 計   | 男            | 女 | 計   |
| 令和2年度 | 260      | 319    | 0 | 319 | 226          | 0 | 226 |
| 令和元年度 | 254      | 254    | 0 | 254 | 155          | 0 | 155 |
| 増減    | 6        | 65     | 0 | 65  | 71           | 0 | 71  |

◆春野基準該当生活介護事業実施状況

| 年度    | 実施<br>日数 | 利用者延人数 |     |     | 入浴サービス利用者延人数 |     |     |
|-------|----------|--------|-----|-----|--------------|-----|-----|
|       |          | 男      | 女   | 計   | 男            | 女   | 計   |
| 令和2年度 | 84       | 16     | 68  | 84  | 16           | 0   | 16  |
| 令和元年度 | 117      | 35     | 82  | 117 | 0            | 59  | 59  |
| 増減    | △33      | △19    | △14 | △33 | 16           | △59 | △43 |

④ 就労継続支援B型事業の推進

働く意欲を持ちながら雇用されることが困難な身体障害者や知的障害者等に対して、働く場を提供し、作業体験、生活体験、仲間との交流・親睦等を通して、働くことの喜びや連帯感、自立心、向上心、社会性等を育みながら、地域社会の一員として日常生活が送れるように、自立を援助する事業を実施した。

◆延べ利用者数（単位：人）

| 年度    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 令和2年度 | 425 | 389 | 468 | 444 | 395 | 418 | 454 | 393 | 397 | 394 | 383 | 467 | 5,027 |
| 令和元年度 | 414 | 417 | 367 | 416 | 386 | 385 | 404 | 388 | 382 | 375 | 349 | 408 | 4,691 |

◆活動内容 ティッシュペーパー・お産用パットの袋詰め、除草作業、清掃、救急医療情報キット・名刺の製作、ほおつちょけんポロシャツ・シールの制作・販売  
農業事業関連 ... 野菜の栽培・販売、加工品(ジャム等)の作成・販売

◆主な施設行事：新型コロナウイルス感染症対策のため未実施。

◆工賃の状況

| 年度     | 平均月額工賃（1人当たり） | 対前年     | 対前年比 |
|--------|---------------|---------|------|
| 令和2年度  | 11,244円       | 1,630円減 | △87% |
| 令和元年度  | 12,874円       | 59円増    | 100% |
| 平成30年度 | 12,815円       | 730円増   | 106% |
| 平成29年度 | 12,085円       | 190円増   | 102% |

感染拡大の影響によりこれまで主に請け負ってきたティッシュ詰め等の軽作業自体が減った。さらに週に1回～2回の利用者を柔軟に受け入れることで利用者数は増加したが、一人当たりの平均工賃が大きく減少した。

⑤ 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業を通じ、障害児・者等が生活を営む上で発生する様々な課題を解決に導けるよう配慮しながら、基本相談やサービス利用計画作成支援等を実施した。

また、高知市の障害者福祉サービスの支給決定に係る調査業務を受託し、各調査を実施した。

◆相談支援事業 支援状況

| 年度    | 特定相談支援 |          | 障害児相談支援 |          |
|-------|--------|----------|---------|----------|
|       | 計画書作成  | モニタリング実施 | 計画書作成   | モニタリング実施 |
| 令和2年度 | 7件     | 10件      | 0件      | 0件       |
| 令和元年度 | 11件    | 16件      | 0件      | 4件       |

◆高知市委託事業 調査実施状況

| 対象者<br>年度 | 障害者 | 障害児 |
|-----------|-----|-----|
| 令和2年度     | 7件  | 0件  |
| 令和元年度     | 12件 | 0件  |

### (3) 受託事業

#### ① 生きがいデイサービス事業

生活指導（相談援助等）、機能訓練（いきいき百歳体操）、健康状態の確認、送迎、給食等のサービスにより、高齢者の介護予防と社会参加に努めた。

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、4月15日から5月31日までの間は事業を中止としたため、利用者数は減少となった。

##### ◆生きがいデイサービス延利用者数

| 事業所<br>年度 | 延利用者数 |
|-----------|-------|
| 令和2年度     | 611名  |
| 令和元年度     | 889名  |
| 増減        | △278名 |

#### ② 外出支援サービス事業

高知市からの受託事業として、土佐山地区において自宅から医療機関への通院支援等、高齢者が住み慣れた地域で生活していくための支援を行った。平成30年1月からデマンドタクシーによる土佐山へき地診療所への送迎が始まり、診療所利用者は3月末までに全員デマンドタクシーに移行した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため、外来診療を控える利用が増え、当事業の利用者が減少した。

##### ◆外出支援サービス事業延利用者数

| 年度    | 利用者数 | 延利用者数 | 延時間    | 月平均利用者数 |
|-------|------|-------|--------|---------|
| 令和2年度 | 9名   | 105名  | 184時間  | 0.8名    |
| 令和元年度 | 85名  | 251名  | 37時間   | 7.1名    |
| 増減    | △76名 | △146名 | △192時間 | △6.3名   |

※ 延時間については、30分未満は切捨て、30分以上は切上げ

#### ③ 介護保険・居宅介護給付外有償サービス

##### ア. 制度外の訪問介護等支援

介護保険制度や居宅介護事業等、訪問介護事業所として実施しているサービスの利用者に対して、利用者や家族の緊急又は突発的な事由若しくは従来のサービス内容では補えない場合にケアマネジャー等の意見に基づき、1時間1,800円で派遣した。

##### ◆令和2年度利用者数

|       |      | まるのうち  | 春野     | 合計     |
|-------|------|--------|--------|--------|
| 令和2年度 | 利用者数 | 14名    | 9名     | 25名    |
|       | 利用時間 | 23時間   | 9.5時間  | 32.5時間 |
| 令和元年度 | 利用者数 | 24名    | 9名     | 33名    |
|       | 利用時間 | 65.5時間 | 14.0時間 | 79.5時間 |

### (4) 障害者福祉の推進

#### ① 障害者社会参加促進事業

市民が障害者理解を深めるための広報及び啓発活動を行うとともに、障害のある人の社会参加が図れるよう教室、講座等を実施した。

##### ア. ふれあいネットワーク事業

広報誌「こうちノーマライゼーション Vol.46（特集「障害のある人の防災」）

発行部数：5,000部 配布先：福祉関連事業所、一般企業等

##### イ. ふれあい体験学習事業

小、中、高等学校生等を対象に、障害のある人に対する理解を深めるための体験学習を実施した。

◆実施回数及び参加者延人数

| 区分      |       | 小学校   | 中学校 | 高校  | 一般 | 合計                    |
|---------|-------|-------|-----|-----|----|-----------------------|
| 実施校等数   | 令和2年度 | 31    | 2   | 3   | 1  | 37カ所                  |
|         | 令和元年度 | 32    | 2   | 2   | 1  | 37カ所                  |
| 実施回数    | 令和2年度 | 131   | 2   | 4   | 1  | 138回※表1（内講師派遣数77回）※表2 |
|         | 令和元年度 | 124   | 5   | 13  | 1  | 143回（内講師派遣数87回）       |
| 参加者数(名) | 令和2年度 | 3,909 | 423 | 319 | 20 | 4,671名                |
|         | 令和元年度 | 3,887 | 189 | 301 | 40 | 4,417名                |

◆※表1 体験種別実施回数

| 区分   |       | アイマスク | 車いす | 手話 | 点字 | 要約筆記 | 講話 | 合計   |
|------|-------|-------|-----|----|----|------|----|------|
| 実施回数 | 令和2年度 | 63    | 42  | 20 | 3  | 3    | 7  | 138回 |
|      | 令和元年度 | 65    | 43  | 19 | 4  | 7    | 5  | 143回 |

◆※表2 体験種別講師派遣回数

| 区分   |       | アイマスク | 車いす | 手話 | 点字 | 要約筆記 | 講話 | 合計  |
|------|-------|-------|-----|----|----|------|----|-----|
| 派遣回数 | 令和2年度 | 32    | 20  | 12 | 3  | 3    | 7  | 77回 |
|      | 令和元年度 | 34    | 22  | 15 | 4  | 7    | 5  | 87回 |

ウ. 福祉ボランティア養成事業

講座名：「聴覚障害の方の支援方法を知る講座」

講師：特定非営利活動法人 要約筆記 高知・やまもも 参加者：19名

内容：“聞こえない”障害についての理解を深め、文字言語による情報伝達手法を学ぶ。

エ. 手話普及推進事業

「はじめての手話講座」※若年層への手話普及を目的に、学校の長期休暇期間中に実施

第1回目<開催日>令和2年7月30日(木)～令和2年8月27日(木)（全8回）

<会場>障害者福祉センター2階 大研修室 <参加者>16名

第2回目<開催日>令和3年2月1日(月)～令和3年3月1日(月)（全8回）

<会場>障害者福祉センター2階 大研修室 <参加者>15名

「出張手話講座」

<開催日>令和2年4月1日(水)～令和3年3月31日(水)（9回実施）

<会場>依頼先指定の会場 <参加者>280名

オ. 生活訓練事業

◆自動車運転準備講座（高知県作業療法士会・高知県運転免許センター共催）

<開催日>令和2年10月31日（土） <会場>高知県運転免許センター

「障害のある方の運転教室」<参加者>障害者7名

肢体に障害のある方を対象に、運転補助器具等を設置した自動車の運転や適性検査を実施することで、運転免許取得につなげる講座を実施した。

「自動車運転支援者講座」<参加者>作業療法士等7名

リハビリ等で支援を行っている作業療法士や理学療法士等が、自ら障害のある方を対象とした運転適性検査を体験した後、前述の「障害のある方の運転教室」にも参加し、支援方法のスキルアップを図った。

◆IT推進講習事業

障害のある人を対象に、利用者のニーズに対応した講習を実施した。基礎・応用・検定試験対策コースを設け、パソコンの基本操作や就労に向けての技術習得を目指した講習を実施。検定試験合格に向けて自主勉強ができるフォローアップ体制を整えた。他コースの同時時間帯に自主勉強を実施。講習参加者49名のうち5名が5種目の検定試験に合格した。

（ワード・エクセル3～1級、パワーポイント初級・上級）

〈年間実績〉

| 年度    | 実施回数 | 実参加者数 | 検定試験合格者数 |
|-------|------|-------|----------|
| 令和2年度 | 13回  | 49名   | 5名       |
| 令和元年度 | 14回  | 54名   | 6名       |

〈各コース別内訳〉

| 区分        | 基礎コース | 応用コース | 検定試験<br>対策コース | 聴覚障害者<br>対象コース | 視覚障害者<br>対象コース | 自主勉強 | 合計  |
|-----------|-------|-------|---------------|----------------|----------------|------|-----|
| 実施<br>回数  | 令和2年度 | 5回    | 3回            | 2回             | 1回             | 2回   | 13回 |
|           | 令和元年度 | 4回    | 3回            | 2回             | 5回             | 0回   | 14回 |
| 実参加<br>者数 | 令和2年度 | 23名   | 8名            | 9名             | 1名             | 2名   | 49名 |
|           | 令和元年度 | 24名   | 9名            | 9名             | 5名             | 0名   | 54名 |

カ. 文化教室の開催（創作活動）

◆開催状況

| 区 分    | 障害者福祉<br>センター | 南部健康福祉<br>センター | 合計   | 内容   |
|--------|---------------|----------------|------|------|
| 実施回数   | 令和2年度         | 49回            | 21回  | 70回  |
|        | 令和元年度         | 53回            | 24回  | 77回  |
| 参加者延人数 | 令和2年度         | 271名           | 103名 | 374名 |
|        | 令和元年度         | 369名           | 104名 | 473名 |

※令和2年4月～5月実施予定であった定期文化教室は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により9回分中止。

② 障害者支援窓口事業

ア. 障害者手帳や各種サービスの申請受付及び交付

障害者手帳及び福祉タクシーチケット等の交付、各種申請書の受付等を行った。

◆令和2年度取扱状況

| 区分                     | 障害者手帳・タクシー<br>チケット等交付件数 | そ の 他 各 種<br>申 請 等 受 付 件 数 | 合計  |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|-----|
| 障 害 者<br>福 祉 セ ン タ ー   | 令和2年度                   | 226                        | 142 |
|                        | 令和元年度                   | 310                        | 190 |
| 東 部 健 康 福 祉<br>セ ン タ ー | 令和2年度                   | 225                        | 188 |
|                        | 令和元年度                   | 299                        | 268 |
| 南 部 健 康 福 祉<br>セ ン タ ー | 令和2年度                   | 214                        | 63  |
|                        | 令和元年度                   | 270                        | 83  |
| 春 野 あ じ さい<br>会 館      | 令和2年度                   | 167                        | 90  |
|                        | 令和元年度                   | 163                        | 81  |
| 合 計                    | 令和2年度                   | 832                        | 483 |
|                        | 令和元年度                   | 1,042                      | 622 |

(5) 買物支援送迎事業

高知市春野町仁ノ地域の買い物が困難な高齢者等に対し、通所介護事業の送迎車の空き時間を有効活用し、町内の量販店「サンシャイン弘岡店」までの無料送迎を地域貢献事業として週1回行った。令和2年4月17日には「緊急事態宣言」が発令され、利用者に聞き取りを行ったうえ翌週から事業を一時中止したが、宣言解除により再開した。

◆〈実績〉

| 年度    | 登録者数 | 延べ人数 |
|-------|------|------|
| 令和2年度 | 10名  | 183名 |
| 令和元年度 | 7名   | 171名 |